

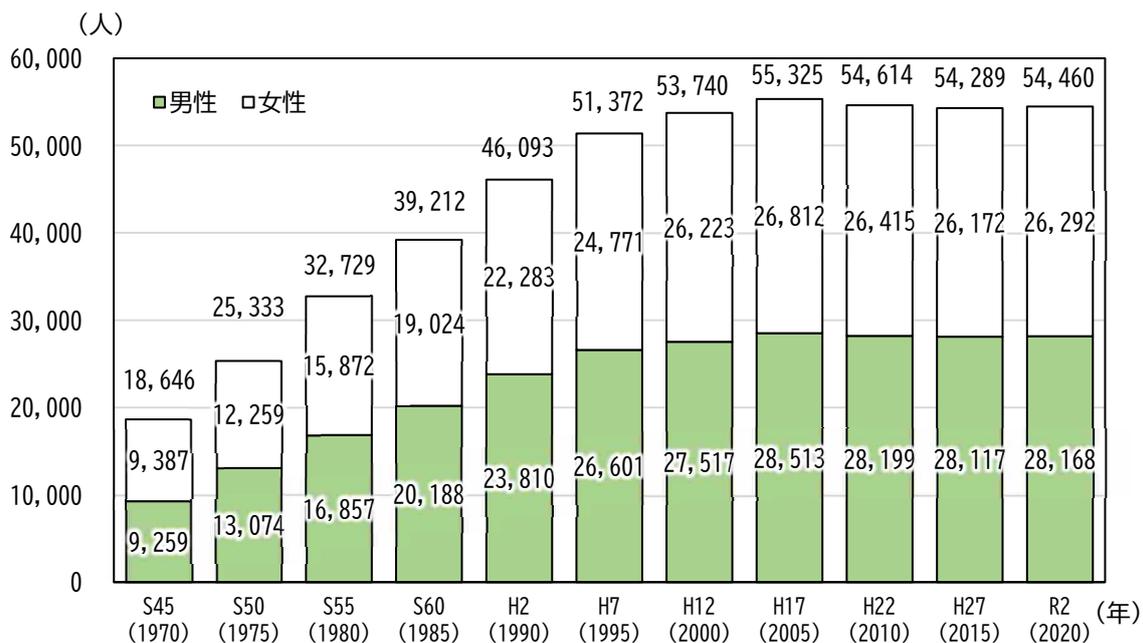
第2章 湖南市の現状分析

2-1 市全域の現状

(1) 人口の推移

◆ 人口

本市の人口は、平成17年(2005年)をピークに減少しており、令和2年(2020年)は54,460人となっています。

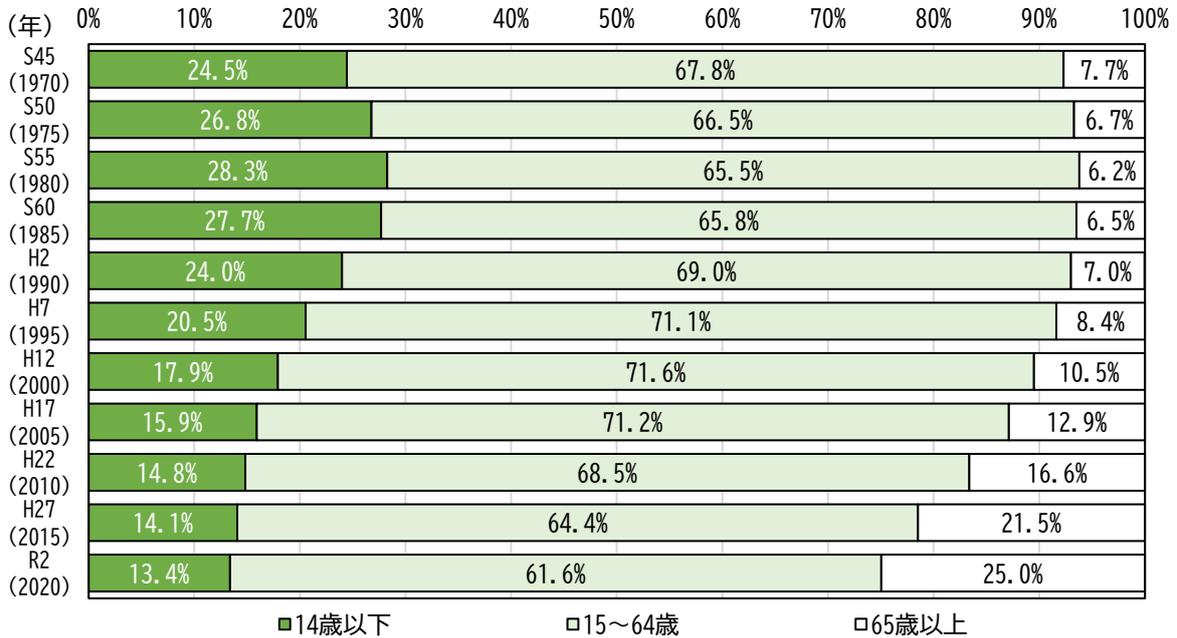


(出典：国勢調査)

図：人口推移

◆ 年齢階層別人口

本市の年齢階層別人口は、令和2年（2020年）時点で年少人口（14歳以下）が13.4%、生産人口（15～64歳）が61.6%、高齢人口（65歳以上）が25.0%となっており、全国的な傾向と同様に、少子高齢化が進展しています。



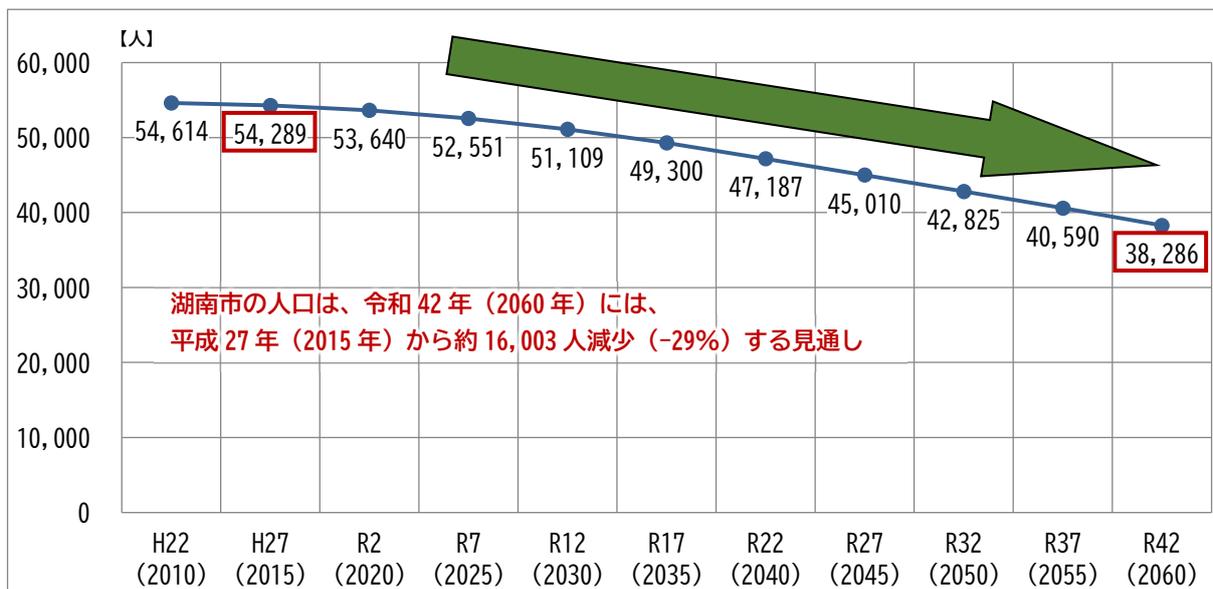
(出典：国勢調査)

図：年齢階層別人口

◆ 将来人口の推移

日本の将来人口の見通しは、令和42年（2060年）には、9,284万人まで減少すると試算されています。

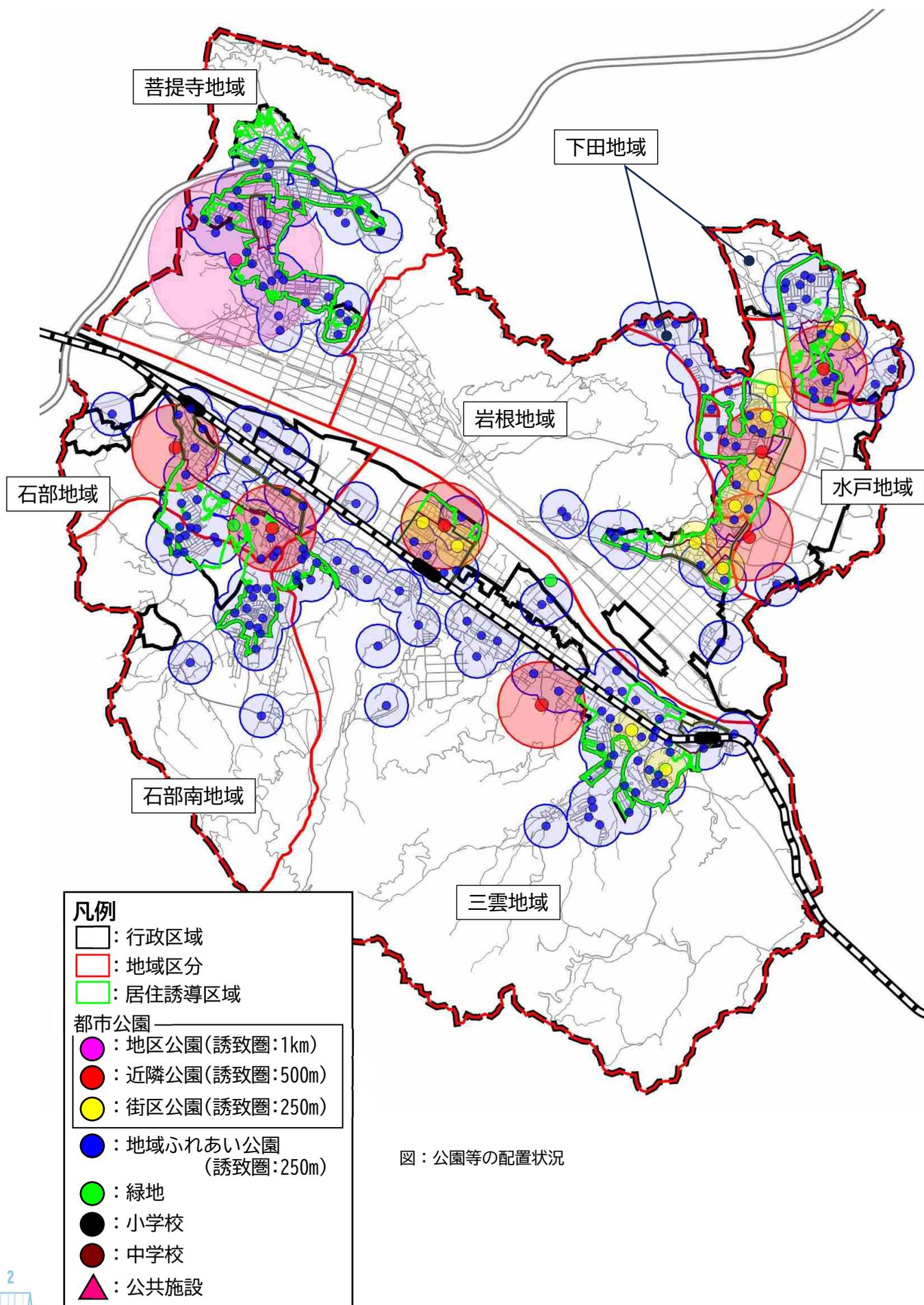
国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠する方式で実施した本市の将来人口推計（平成27年（2015年）の国勢調査人口から推計）によると、本市の人口は、令和42年（2060年）には平成27年（2015年）よりも約16,003人減少（-29%）する見通しです。



(出典：第二次湖南省市総合計画後期基本計画)

図：湖南省市の将来人口の見通し

(2) 湖南市の公園等の現状



◆ 公園等の配置状況

市内には 207 箇所の公園等があります。これらの誘致圏*¹は、居住誘導区域*²をおおむね充足しています。

都市公園（地区公園・近隣公園・街区公園・緑地）の住民一人当たりの敷地面積は、8.47 m²、地域ふれあい公園を含めると 11.07 m²で、都市公園の住民一人当たりの敷地面積の標準（10 m²）を超えています。

* 1：誘致圏とは、平成 15 年（2003 年）3 月 28 日まで都市公園法施行令により運用されてきた、住区基幹公園における誘致距離標準の範囲。具体的には地区公園：半径 1 km、近隣公園：半径 500m、街区公園：半径 250 m の範囲をいう。地域ふれあい公園については、街区公園と同様に半径 250m の範囲を誘致圏とし、確認・評価の目安として利用。

一律の市街地と人口密度を想定し、公園種別毎の誘致距離を数値をもって示すことがなじまなくなってきたことを踏まえ、住区基幹公園について、街区、近隣、徒歩圏内を単位とし、必要な規模の都市公園を系統的に配置するという基本的な考え方は踏襲しつつも、誘致距離の数値表示を行わないよう、施工令が改正されている。（出典：都市公園法運用指針（第 2 版））

* 2：居住誘導区域とは、人口減少の中にあっても一定エリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスや コミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域のこと。立地適正化計画で定められる。

人口：54,447 人（令和 5 年（2023 年）12 月現在）

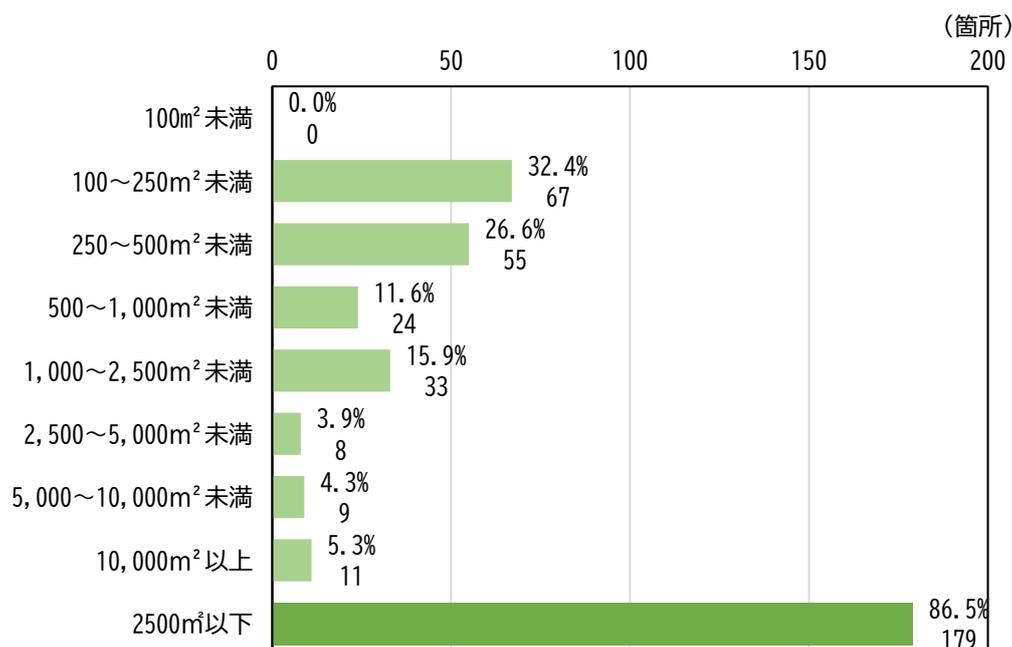
公園等の住民一人当たりの敷地面積：11.07 m²（地域ふれあい公園を含む）

種別	地区公園	近隣公園	街区公園	緑地	地域ふれあい公園	合計
箇所数	1	7	11	3	185	207
面積（m ² ）	60,000	184,000	46,300	170,900	141,575	602,775

◆ 公園等の面積規模

公園等の整備面積は、100～250 m²未満の公園等が最も多く、67 箇所（32.4%）となっています。

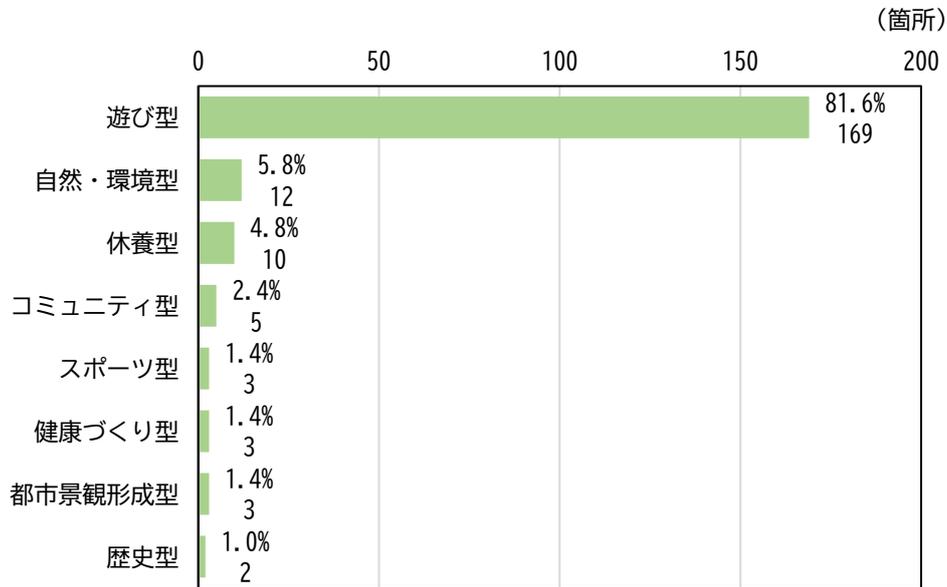
街区公園の敷地面積の標準（2,500 m²）以下の公園等は、179 箇所（86.5%）となっています。



図：面積規模別の公園等箇所数

◆ 公園等の整備形態

令和5年（2023年）に実施した実態調査の結果から、公園等の整備形態を特徴に応じて整理すると、遊具を主とした遊び型の公園等が169箇所（81.6%）で最も多く、次いで自然・環境型の公園等が12箇所（5.8%）となっています。



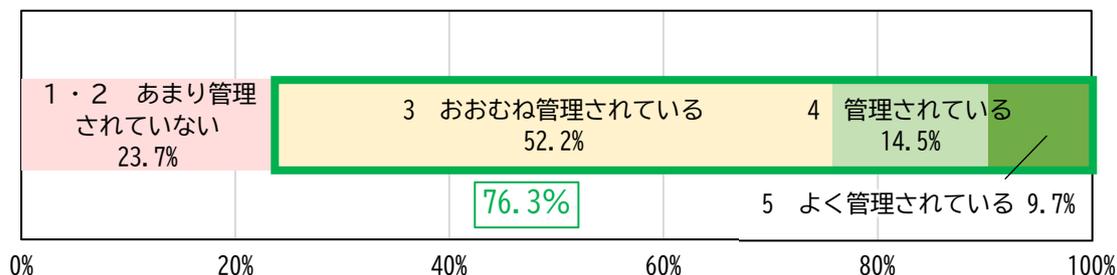
図：公園等の整備形態

<公園等の整備形態の区分>

整備形態	主な利用の仕方・期待される機能
遊び型	一般遊具、複合遊具、アスレチック等の遊具での遊びの利用
健康づくり型	ウォーキングや健康遊具を用いた軽運動等、健康づくりの利用
スポーツ型	野球、テニスやバスケットボール等のスポーツ利用
休養型	ベンチや四阿等での歓談、読書等の休養利用
防災型	避難場所の確保、延焼防止、遊水機能等
自然・環境型	樹林や水辺等、落ちついた雰囲気の中で自然と触れ合う利用、ヒートアイランド現象の緩和、生物生息環境の保全等
コミュニティ型	地域の夏祭り等のイベントでの利用開催や、愛護会・自治会等による植物育成等の利用
歴史型	地域の歴史の顕彰等
都市景観形成型	市街地の美観の向上、精神的なやすらぎの機能等

◆ 公園等の管理状況と利用状況

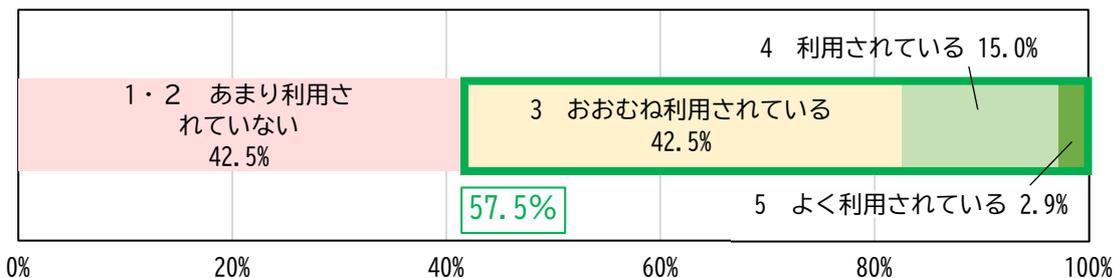
公園等の管理状況を見ると、8割近くが「管理されている」公園等となっていますが、「あまり管理されていない」公園等が2割を超えています。「あまり管理されていない」なかには、テープが貼られ使用不可となっている公園等があります。



図：公園等の管理状況

公園等の利用状況を見ると、約6割が「利用されている」公園等、「あまり利用されていない」公園等が約4割となっています。

「あまり利用されていない」なかには、駐車場として利用されている公園等があります。



図：公園等の利用状況

※ 当分析は調査員が現地で行った公園等の実態調査を基にしているため、管理状況・利用状況分析結果は調査日時によって変動することも想定されます。

2-2 地域別の現状

本市では、まちづくり協議会の区分を基に、地域を7つに区分し地域別にまちづくり方針を設定して、さまざまな取組を行っています。

地域のニーズを踏まえた新たな利活用や都市の集約化に対応した公園等ストックの再編の方針を検討するため、7地域ごとに現状を分析します。

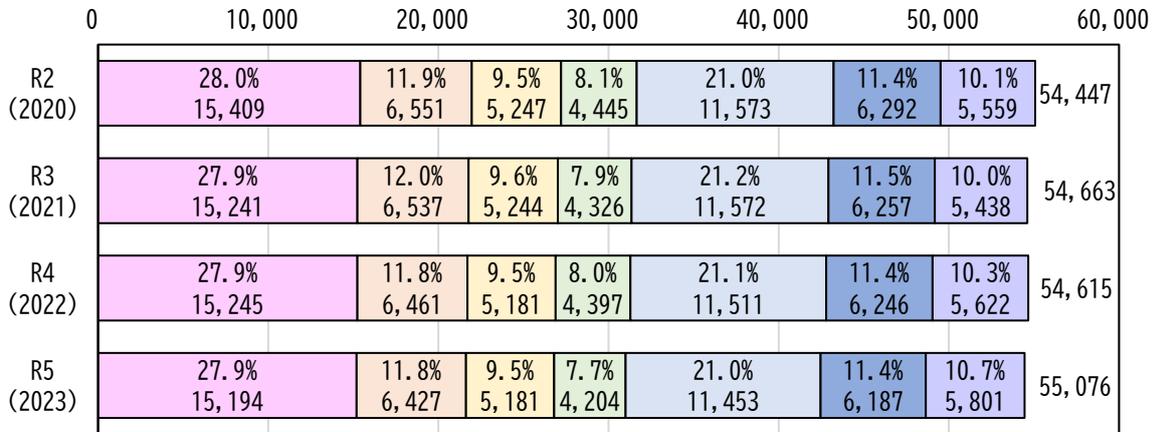


図：湖南省の7地域区分

◆ 地域ごとの人口の推移

地域ごとの人口は、三雲地域が最も多く、令和5年（2023年）12月時点で15,194人、市全体の人口に対する割合は、27.9%となっています。

どの地域もおおむね横ばいで推移していますが、水戸地域は微増傾向にあります。



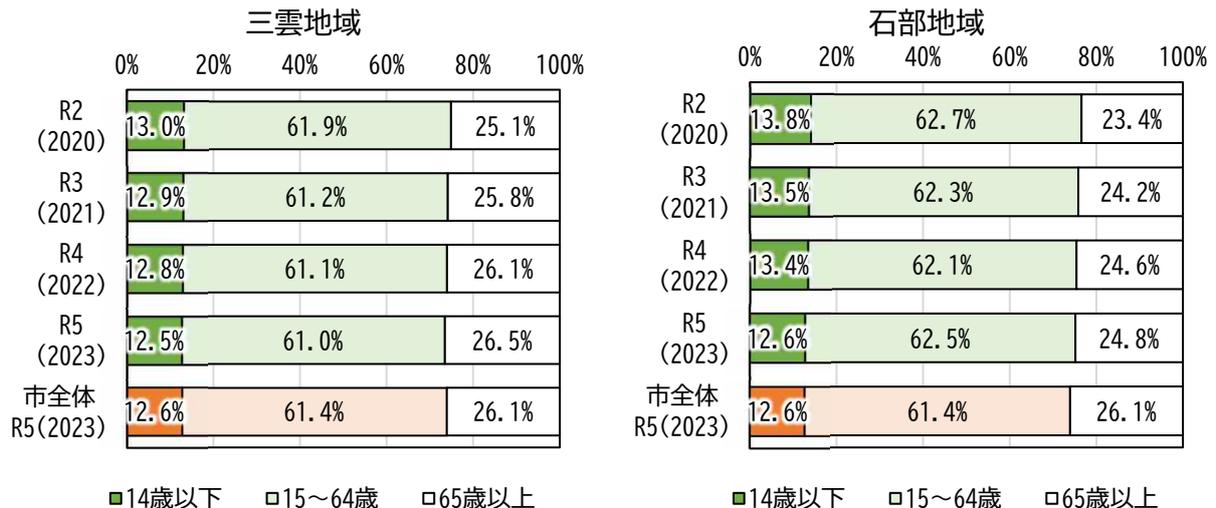
□ (1) 三雲地域 □ (2) 石部地域 □ (3) 石部南地域 □ (4) 岩根地域 □ (5) 菩提寺地域 □ (6) 下田地域 □ (7) 水戸地域 (人)

(出典：市統計資料)

図：地域ごとの人口推移

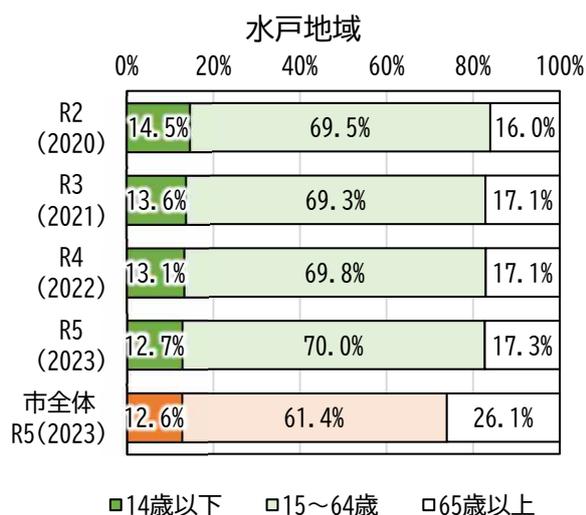
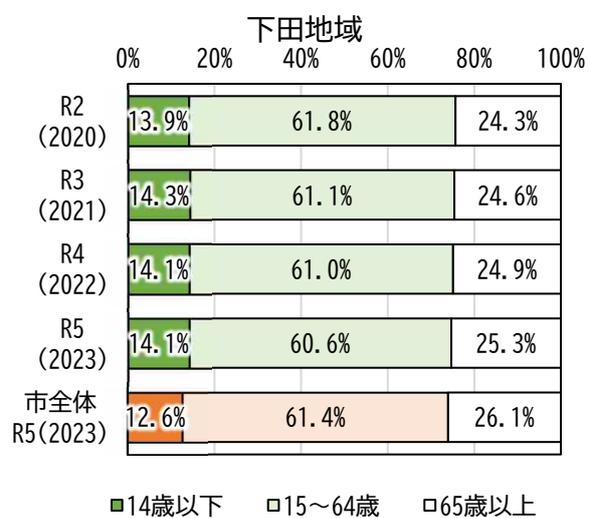
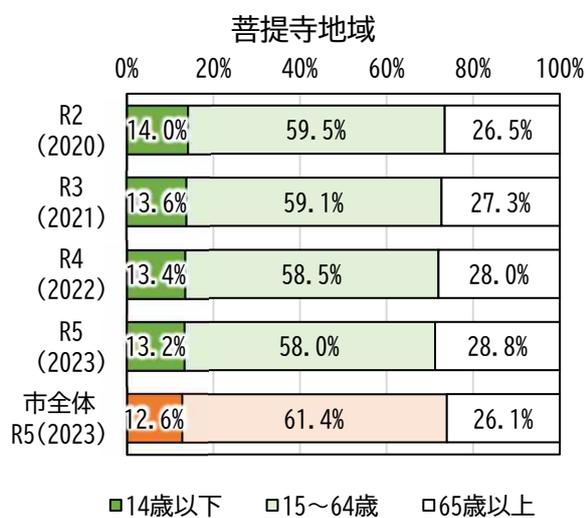
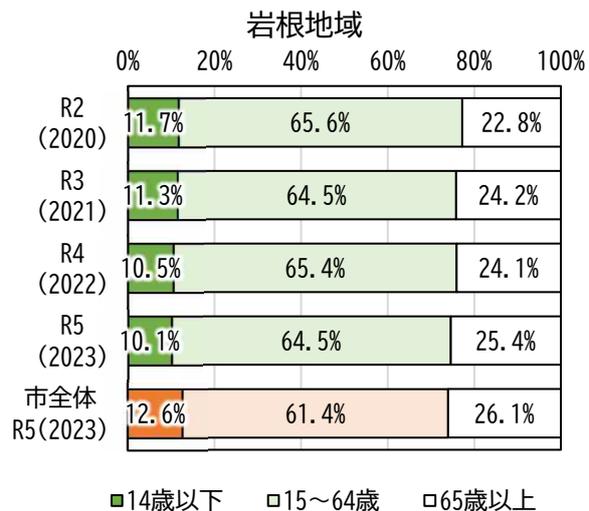
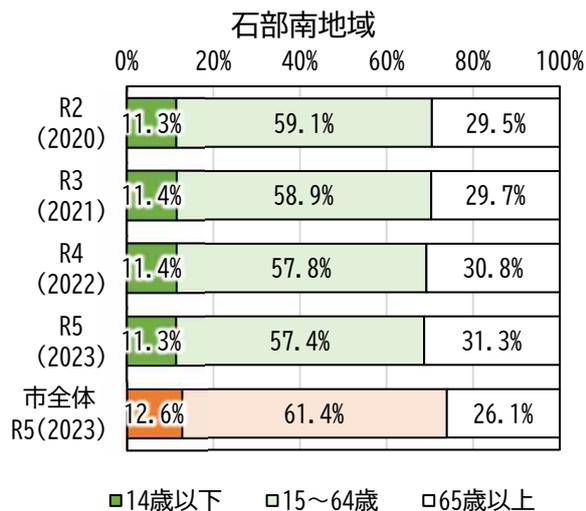
◆ 地域ごとの年齢階層別人口

地域ごとの年齢階層別人口は、令和5年（2023年）12月時点で、市全体の割合と大きく違いはありませんが、水戸地域では生産人口（15～64歳）が70%と、市全体の割合よりも高くなっています。一方、石部南地域、菩提寺地域では、生産人口（15～64歳）が60%以下となっています。下田地域では、ほかの地域にくらべて年少人口（14歳以下）が14.1%と高くなっています。



■ 14歳以下 □ 15～64歳 □ 65歳以上

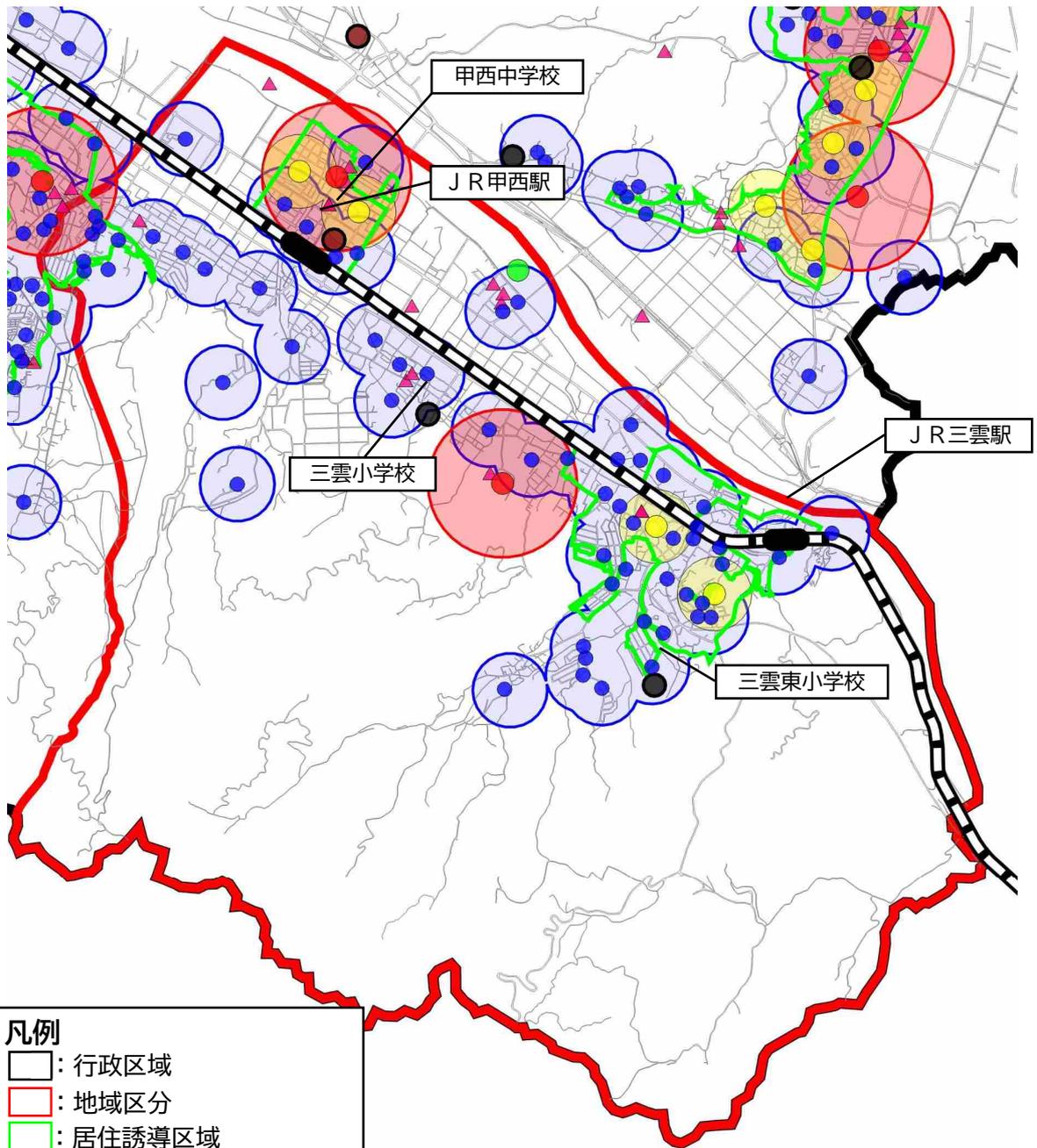
■ 14歳以下 □ 15～64歳 □ 65歳以上



(出典：市統計資料)

図：年齢階層別人口の推移

(1) 三雲地域



図：公園等の配置状況

凡例	
	行政区域
	地域区分
	居住誘導区域
都市公園	
	：地区公園(誘致圏:1km)
	：近隣公園(誘致圏:500m)
	：街区公園(誘致圏:250m)
	：地域ふれあい公園 (誘致圏:250m)
	：緑地
	：小学校
	：中学校
	：公共施設

◆ 三雲地域の地域特性（湖南省都市計画マスタープランより）

- ・市域南部に位置し、東側から南側にかけて甲賀市に隣接しています。
- ・JR三雲駅周辺には既存の市街地や住宅地が形成され、(主)草津伊賀線沿道では、沿道サービス施設や工場等が立地しています。
- ・JR草津線の南側には、東海道に沿って既存の住宅地が形成されています。
- ・三雲城跡や妙感寺、常照寺等の歴史資源をはじめ、西部には平松のウツクシマツ自生地、東部には不動乃滝等の豊かな自然資源があります。

◆ 三雲地域の公園等の配置状況

三雲地域には、67箇所の公園等があります。これらの誘致圏は、居住誘導区域をおおむね充足しています。

地域内の住民一人当たりの都市公園等の敷地面積は16.1㎡であり、都市公園の住民一人当たりの敷地面積の標準（10㎡）を超えています。

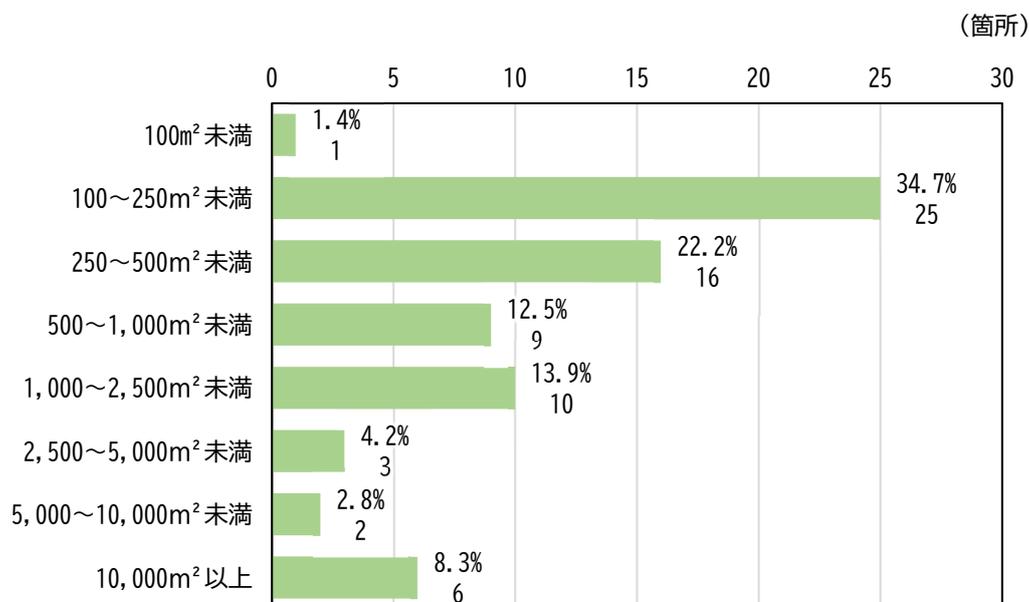
人口：15,194人（令和5年（2023年）12月現在）

公園等の住民一人当たりの敷地面積：16.1㎡（地域ふれあい公園を含む）

種別	地区公園	近隣公園	街区公園	緑地	地域ふれあい公園	合計
箇所数	0	2	4	1	60	67
面積（㎡）	0	45,000	13,700	145,600	40,705	245,005

◆ 三雲地域の公園等の面積規模

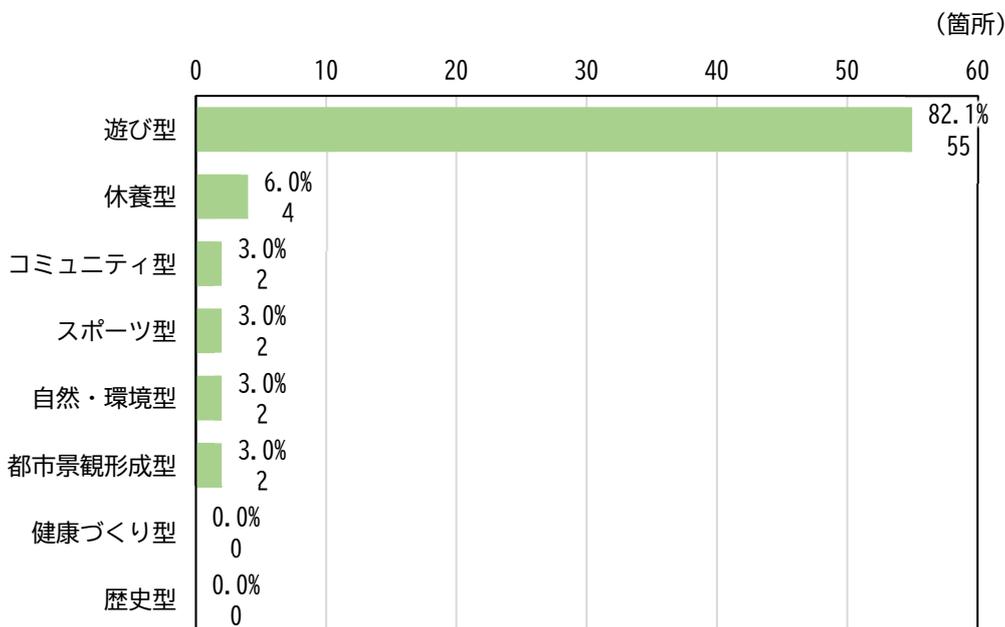
公園等の整備面積は、100～250㎡未満の公園等が最も多く、25箇所（34.7%）となっています。



図：面積規模別の公園等箇所数

◆ 三雲地域の公園等の整備形態

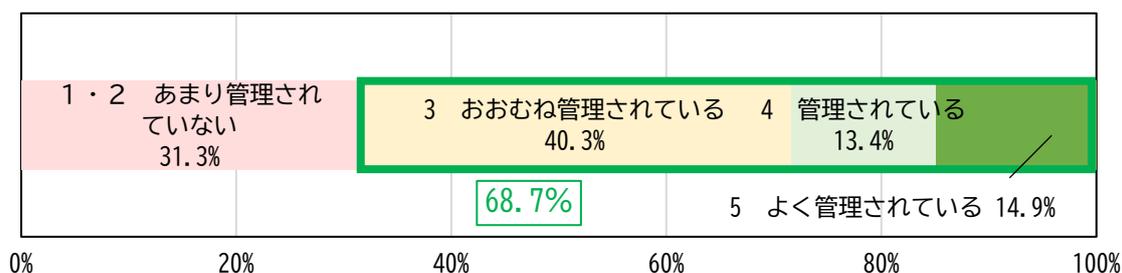
令和5年（2023年）に実施した実態調査の結果から、公園等の整備形態を特徴に応じて整理すると、遊び型の公園等が55箇所（82.1%）で最も多く、次いで休養型の公園等が4箇所（6.0%）となっています。



図：公園等の整備形態

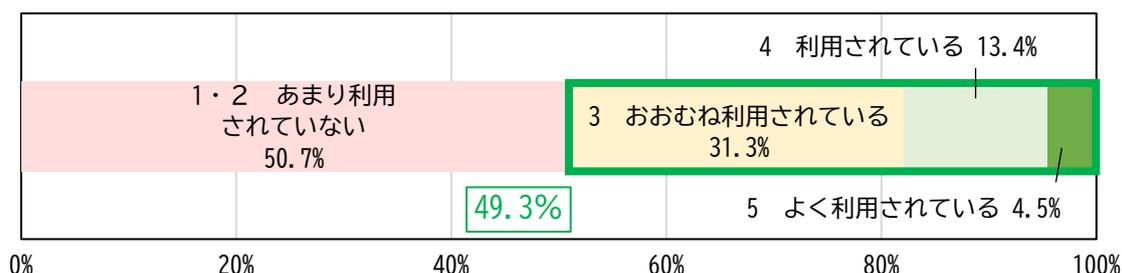
◆ 三雲地域の公園等の管理状況と利用状況

公園等の管理状況をみると、「管理されている」公園等は、68.7%で7割近くとなっています。



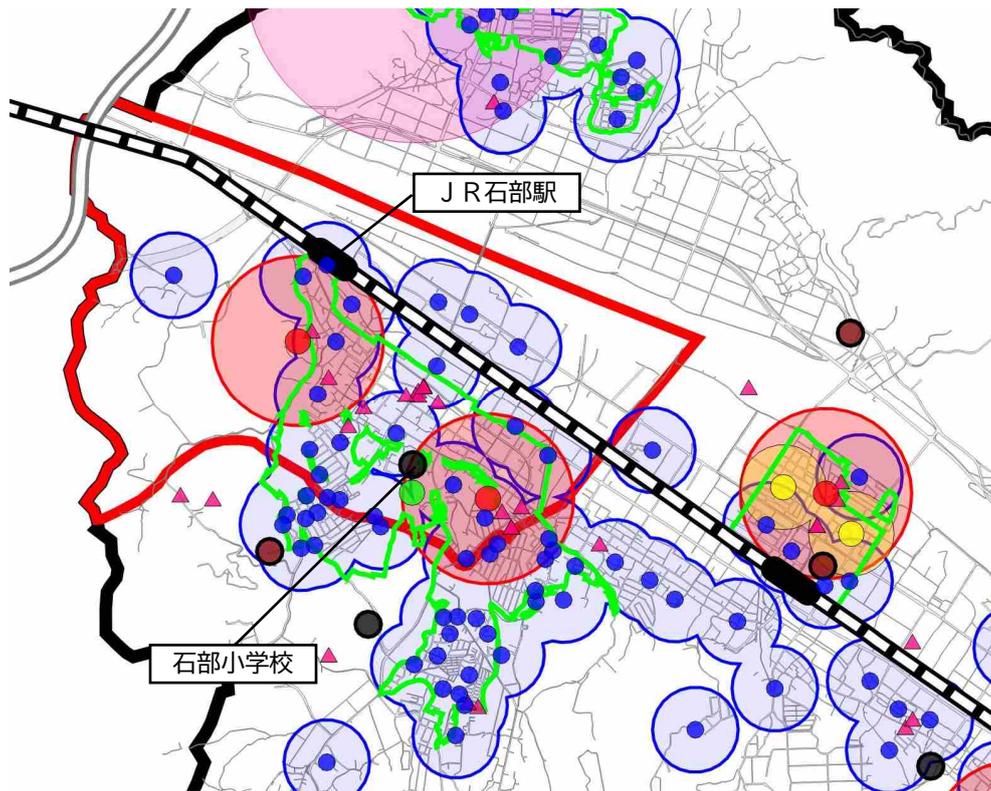
図：公園等の管理状況

公園等の利用状況をみると、「利用されている」公園等が49.3%と約半数となっています。



図：公園等の利用状況

(2) 石部地域



凡例

- : 行政区域
- : 地域区分
- : 居住誘導区域

都市公園

- : 地区公園(誘致圏:1km)
- : 近隣公園(誘致圏:500m)
- : 街区公園(誘致圏:250m)
- : 地域ふれあい公園
(誘致圏:250m)

- : 緑地
- : 小学校
- : 中学校
- ▲ : 公共施設

図：公園等の配置状況

◆ 石部地域の地域特性（湖南市都市計画マスタープランより）

- ・野洲川の南部に位置し、西側は栗東市に接しています。
- ・地域の南西側は雨山等自然豊かな山地が残り、中央から東側にかけて市街地が形成されています。
- ・地域の北側には、（主）草津伊賀線とＪＲ草津線が通過し、（主）草津伊賀線沿道にはサービス施設や大規模工場が、ＪＲ草津線南側には一団の農地が残っています。
- ・北西にはＪＲ石部駅があり、その西側には国道１号が整備されています。
- ・市街地内には東海道をはじめ、小島本陣跡や吉姫神社等の歴史資源が数多く残り、雨山文化運動公園には、東海道石部宿歴史民俗資料館や雨山研修館「宿場の里」等が立地しています。

◆ 石部地域の公園等の配置状況

石部地域には、22箇所の公園等があります。これらの誘致圏は、居住誘導区域をおおむね充足しています。

地域内の都市公園等の住民一人当たりの敷地面積は12.3㎡であり、都市公園の住民一人当たりの敷地面積の標準（10㎡）を超えています。

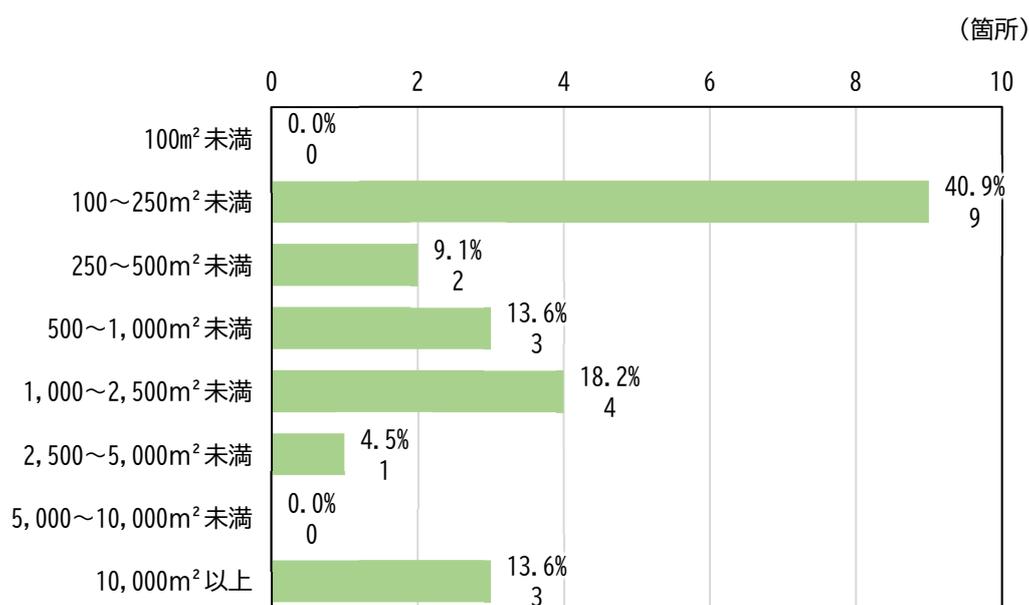
人口：6,427人（令和5年（2023年）12月現在）

公園等の住民一人当たりの敷地面積：12.3㎡（地域ふれあい公園を含む）

種別	地区公園	近隣公園	街区公園	緑地	地域ふれあい公園	合計
箇所数	0	2	0	1	19	22
面積（㎡）	0	44,000	0	20,000	14,894	78,894

◆ 石部地域の公園等の面積規模

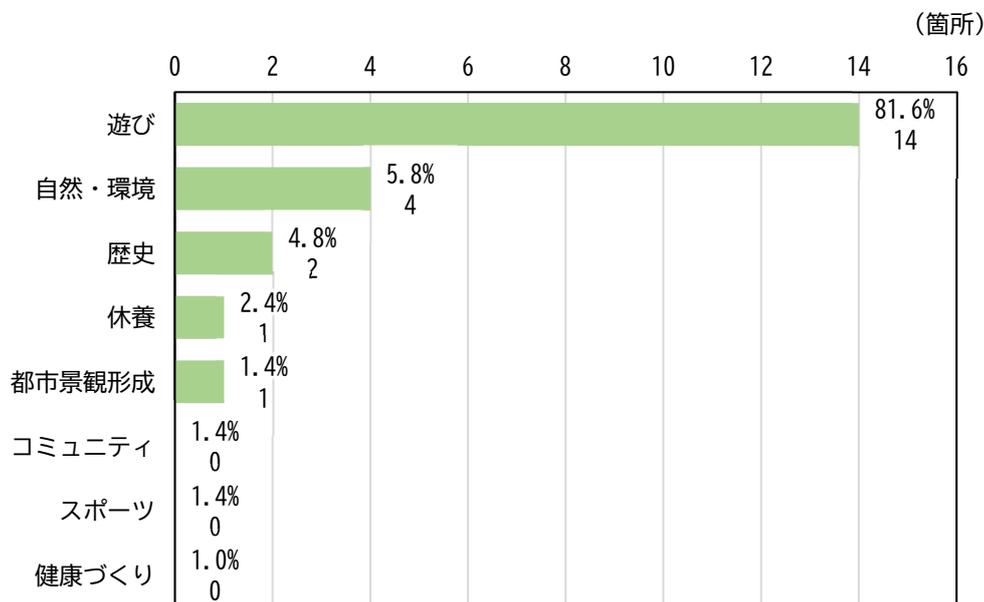
公園等の整備面積は、100～250㎡未満の公園等が最も多く、9箇所（40.9%）となっています。



図：面積規模別の公園等箇所数

◆ 石部地域の公園等の整備形態

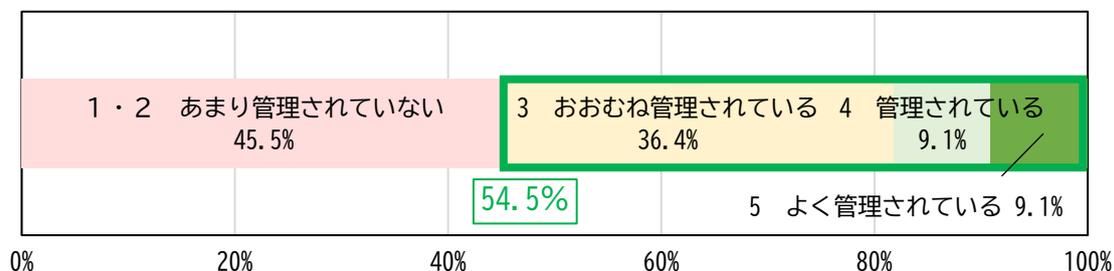
令和5年（2023年）に実施した実態調査の結果から、公園等の整備形態を特徴に応じて整理すると、遊び型の公園等が14箇所（81.6%）で最も多く、次いで自然・環境型の公園等が4箇所（5.8%）となっています。



図：公園等の整備形態

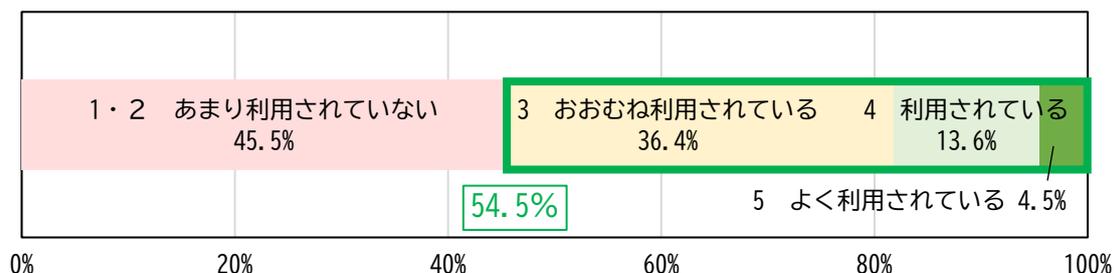
◆ 石部地域の公園等の管理状況と利用状況

公園等の管理状況を見ると、「管理されている」公園等は、54.5%で過半数を占めています。



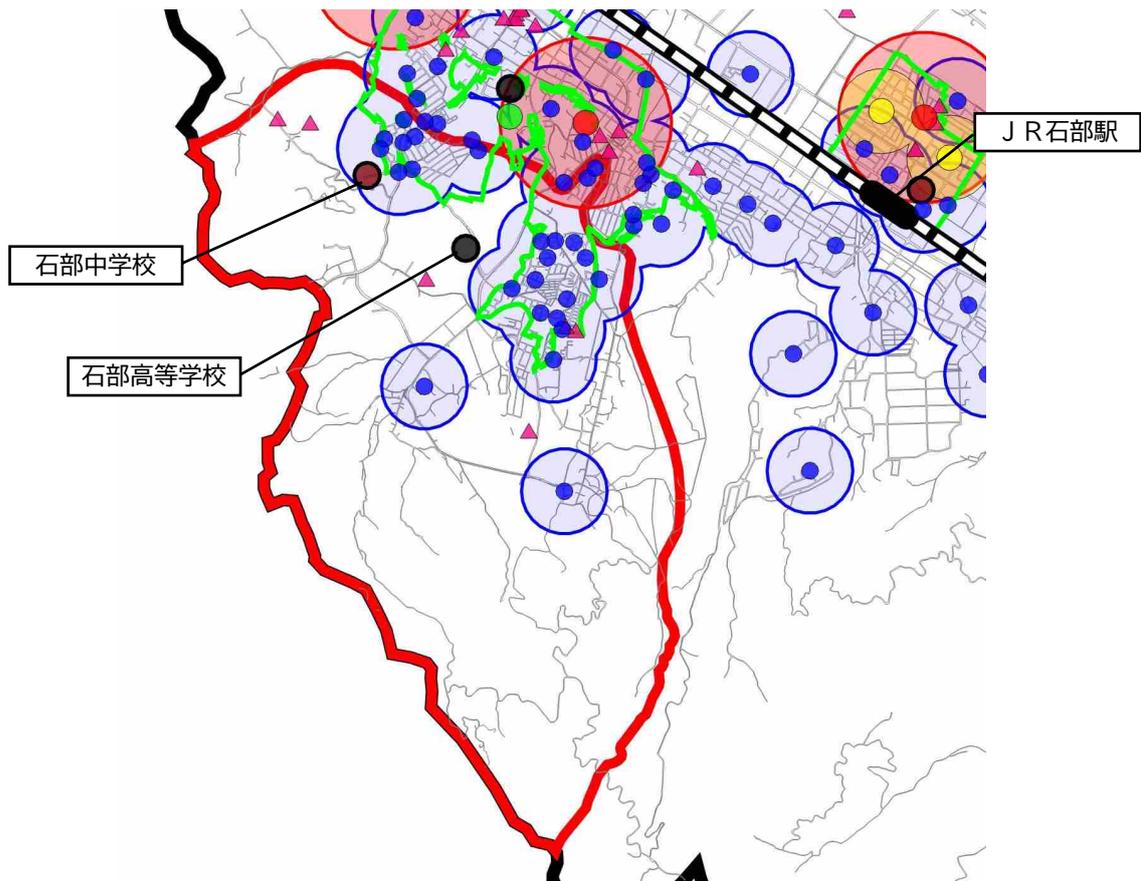
図：公園等の管理状況

公園等の利用状況を見ると、「利用されている」公園等が54.5%と過半数を占めています。



図：公園等の利用状況

(3) 石部南地域



図：公園等の配置状況

凡例	
	: 行政区域
	: 地域区分
	: 居住誘導区域
都市公園	
	: 地区公園(誘致圏:1km)
	: 近隣公園(誘致圏:500m)
	: 街区公園(誘致圏:250m)
	: 地域ふれあい公園 (誘致圏:250m)
	: 緑地
	: 小学校
	: 中学校
▲	: 公共施設

◆ 石部南地域の地域特性（湖南省都市計画マスタープランより）

- ・市域南西部に位置し、西側は栗東市に隣接しています。
- ・地域の中央北側には一団の住宅地が形成されており、南側には阿星山や広野川、北西部には雨山等の自然資源があります。
- ・歴史資源として、湖南三山に数えられる常楽寺や長寿寺等があり、また、じゅらくの里を中心に良好な田園景観が広がっています。
- ・北西部の雨山文化運動公園には、雨山総合グラウンド等の体育施設、東海道石部宿歴史民俗資料館、雨山研修館「宿場の里」等があります。

◆ 石部南地域の公園等の配置状況

石部南地域には、28 箇所の公園等があります。これらの誘致圏は、居住誘導区域をおおむね充足しています。

地域内の都市公園等の住民一人当たりの敷地面積は 1.8 m²であり、都市公園の住民一人当たりの敷地面積の標準（10 m²）を下回っています。

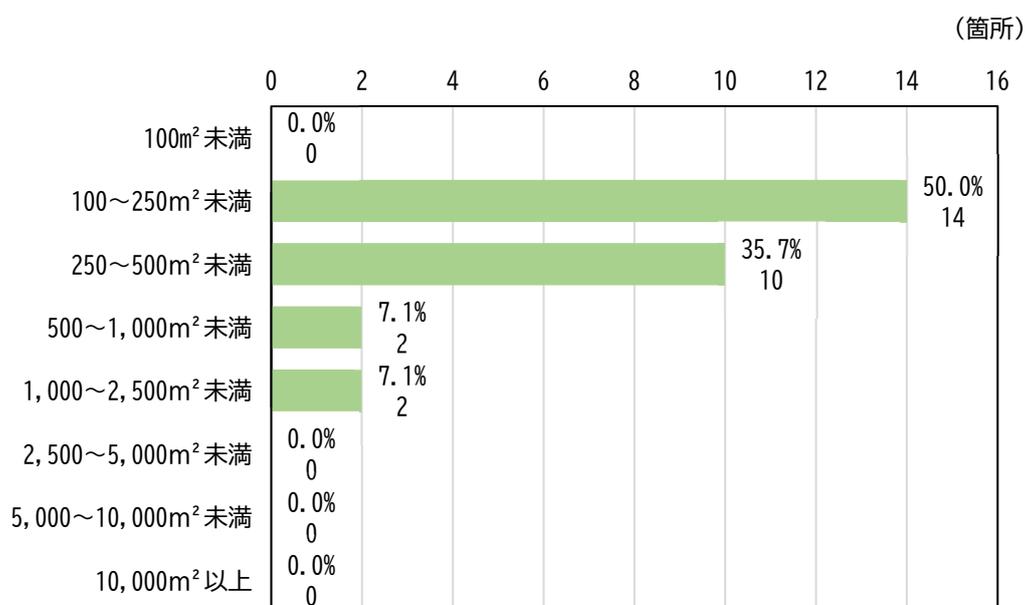
人口：5,181 人（令和 5 年（2023 年）12 月現在）

公園等の住民一人当たりの敷地面積：1.8 m²（地域ふれあい公園を含む）

種別	地区公園	近隣公園	街区公園	緑地	地域ふれあい公園	合計
箇所数	0	0	0	0	28	28
面積（m ² ）	0	0	0	0	9,495	9,495

◆ 石部南地域の公園等の面積規模

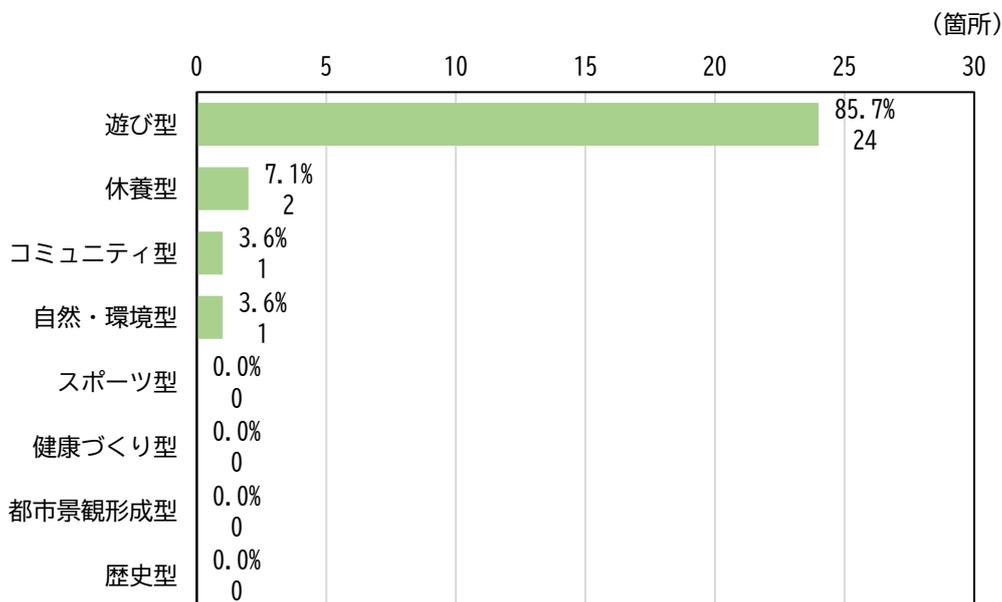
公園等の整備面積は、100～250 m²未満の公園等が最も多く、14 箇所（50%）となっています。



図：面積規模別の公園等箇所数

◆ 石部南地域の公園等の整備形態

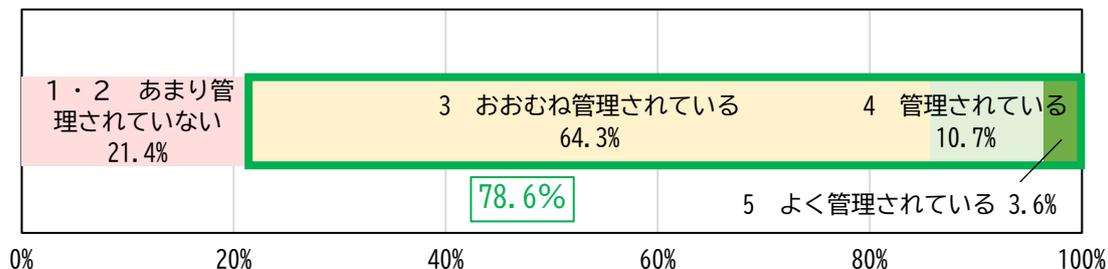
令和5年（2023年）に実施した実態調査の結果から、公園等の整備形態を特徴に応じて整理すると、遊び型の公園等が24箇所（85.7%）で最も多く、次いで休養型の公園等が2箇所（7.1%）となっています。



図：公園等の整備形態

◆ 石部南地域の公園等の管理状況と利用状況

公園等の管理状況をみると、「管理されている」公園等は、78.6%で約8割を占めています。



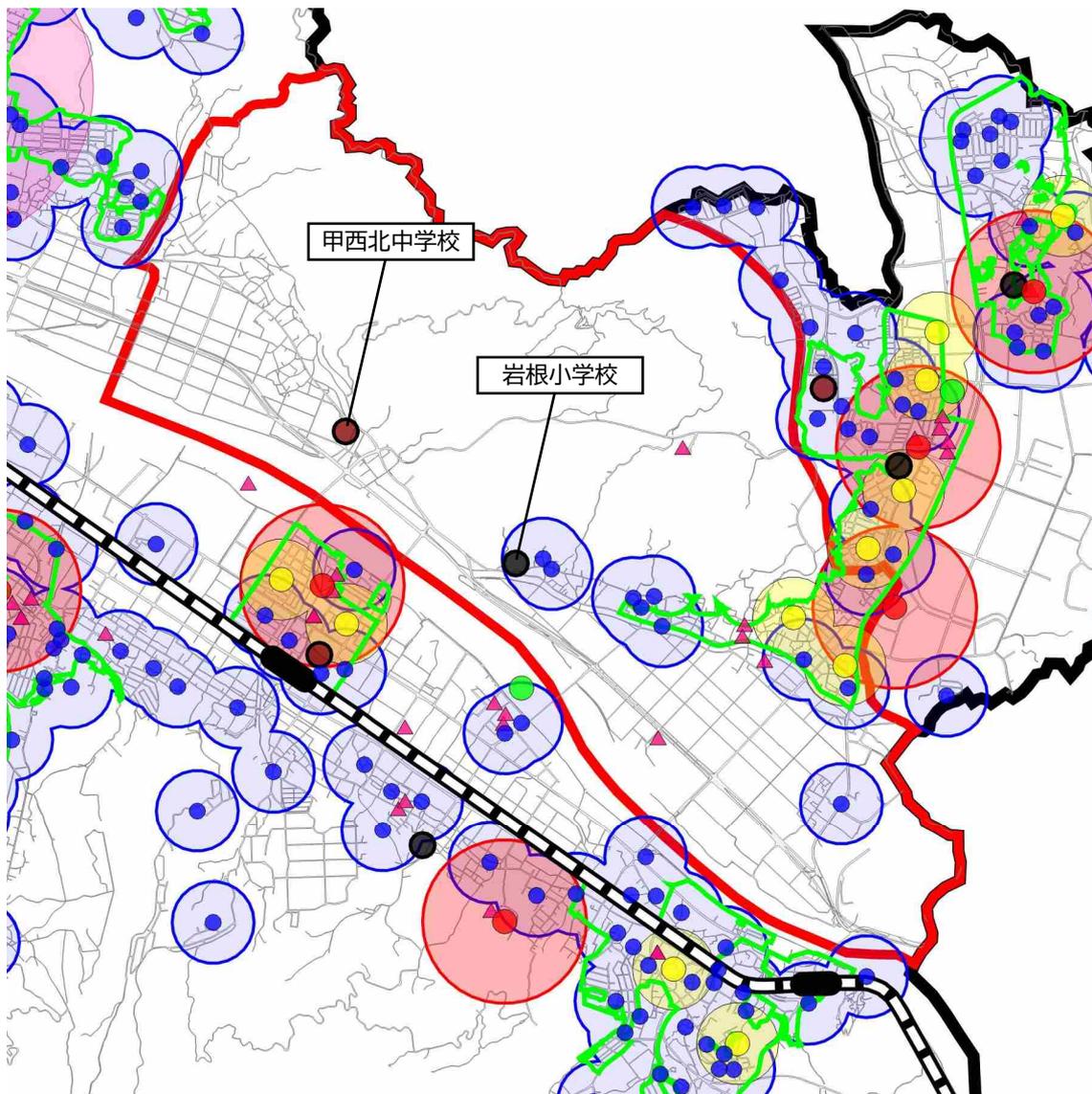
図：公園等の管理状況

公園等の利用状況をみると、「利用されている」公園等は、75.0%と7割以上を占めています。



図：公園等の利用状況

(4) 岩根地域



図：公園等の配置状況



◆ 岩根地域の地域特性（湖南省都市計画マスタープランより）

- ・野洲川の北側から十二坊の山地・丘陵地までを区域に含み、北側は竜王町に隣接しています。
- ・十二坊の山裾に広がる集落地域をはじめ、東部には土地区画整理事業による計画的な住宅地（岩根中央）が整備されています。
- ・甲西大橋から湖南工業団地をつなぐ市道岩根大谷線、市道十二坊線によって「湖國十二坊の森 十二坊温泉ゆらら」にアクセスできます。
- ・野洲川沿いに広がる一団の農地、思川、十二坊の山地・丘陵地等の豊かな自然環境が残るとともに、善水寺等の歴史資源があります。

◆ 岩根地域の公園等の配置状況

岩根地域には、12箇所の公園等があります。これらの誘致圏は、居住誘導区域をおおむね充足しています。

地域内の都市公園等の住民一人当たりの敷地面積は 3.3 m²であり、都市公園の住民一人当たりの敷地面積の標準（10 m²）を下回っています。

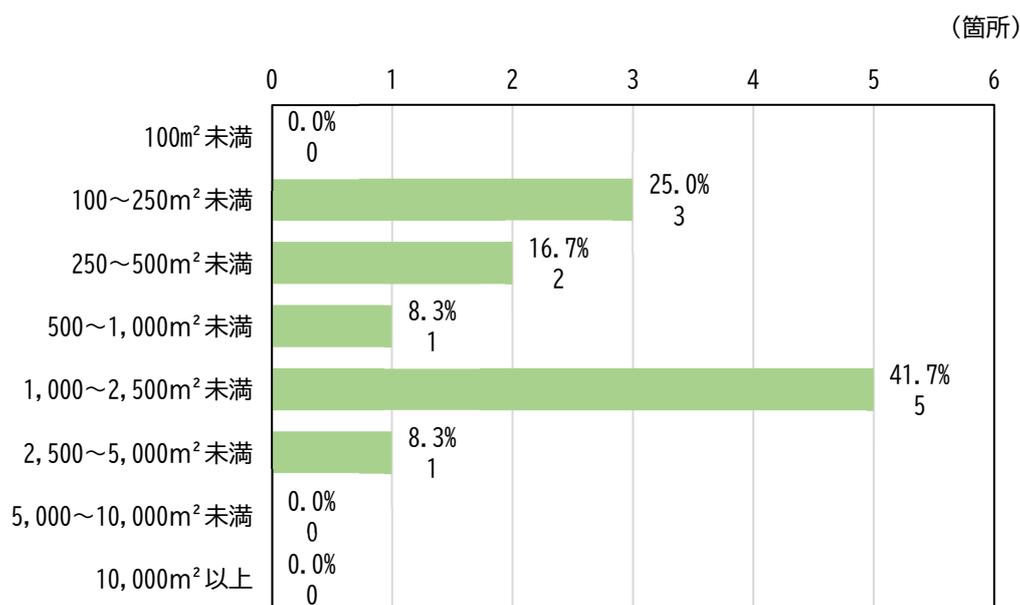
人口：4,204人（令和5年（2023年）12月現在）

公園等の住民一人当たりの敷地面積：3.3 m²（地域ふれあい公園を含む）

種別	地区公園	近隣公園	街区公園	緑地	地域ふれあい公園	合計
箇所数	0	0	2	0	10	12
面積（m ² ）	0	0	4,700	0	9,200	13,900

◆ 岩根地域の公園等の面積規模

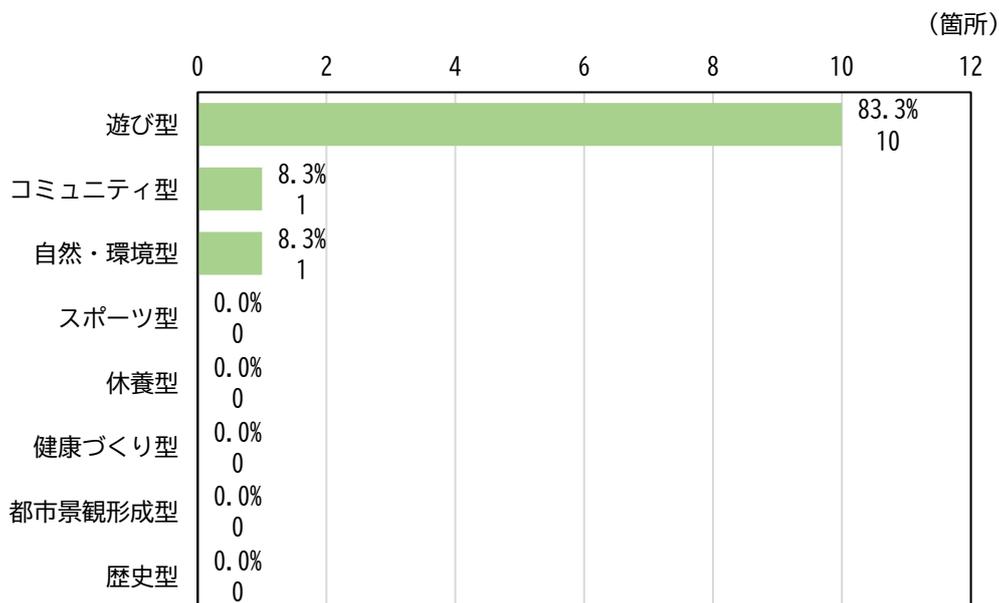
公園等の整備面積は、1,000～2,500 m²未満の公園等が最も多く、5箇所（41.7%）となっています。



図：面積規模別の公園等箇所数

◆ 岩根地域の公園等の整備形態

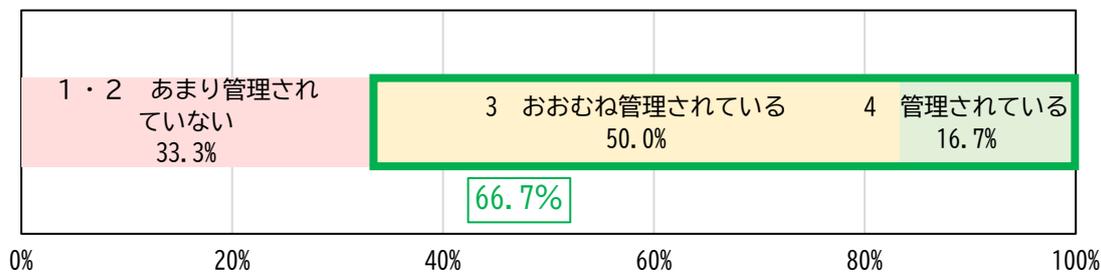
令和5年（2023年）に実施した実態調査の結果から、公園等の整備形態を特徴に応じて整理すると、遊び型の公園等が10箇所（83.3%）で最も多く、次いでコミュニティ型の公園等、自然・環境型の公園等がともに1箇所（8.3%）となっています。



図：公園等の整備形態

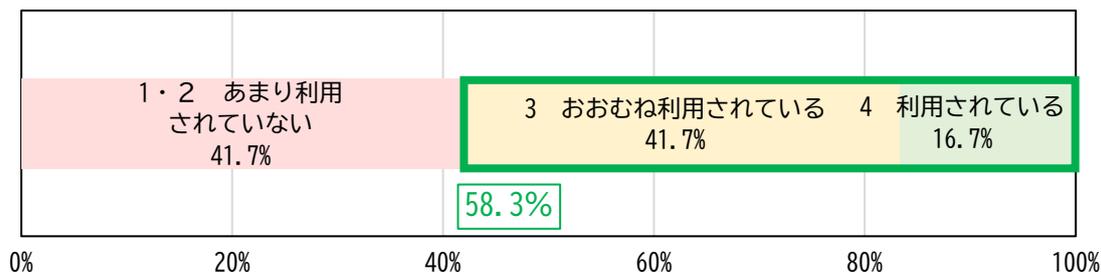
◆ 岩根地域の公園等の管理状況と利用状況

公園等の管理状況をみると、「管理されている」公園等は、66.7%で7割近くを占めています。



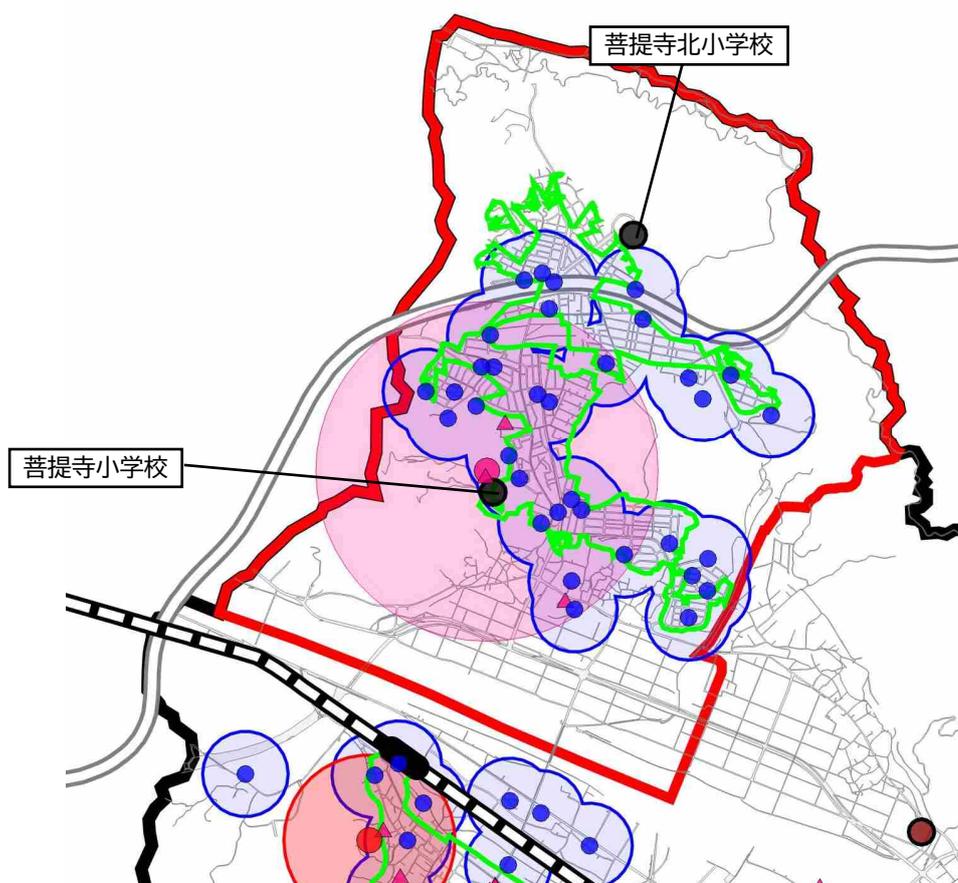
図：公園等の管理状況

公園等の利用状況をみると、「利用されている」公園等が58.3%と過半数を占めています。



図：公園等の利用状況

(5) 菩提寺地域



図：公園等の配置状況

凡例	
	行政区域
	地域区分
	居住誘導区域
都市公園	
	地区公園(誘致圏:1km)
	近隣公園(誘致圏:500m)
	街区公園(誘致圏:250m)
	地域ふれあい公園 (誘致圏:250m)
	緑地
	小学校
	中学校
	公共施設

◆ 菩提寺地域の地域特性（湖南省都市計画マスタープランより）

- ・市域北西部に位置し、北部には緑豊かな山並み、南部には野洲川があり、西部は野洲市と隣接しています。
- ・野洲川沿いに広がる一団の農地の北側には、既存の住宅地があり、その北側一面に戸建て住宅を中心とした一団の住宅地が形成されています。
- ・菩提寺地域は7つの行政区で構成されており、地域の北東部は新興住宅、南部は農村主体となっており、斎神社や菩提禅寺等多数の歴史資源があります。

◆ 菩提寺地域の公園等の配置状況

菩提寺地域には、35箇所の公園等があります。これらの誘致圏は、居住誘導区域をおおむね充足しています。

地域内の都市公園等の住民一人当たりの敷地面積は9.4㎡であり、都市公園の住民一人当たりの敷地面積の標準（10㎡）を下回っています。

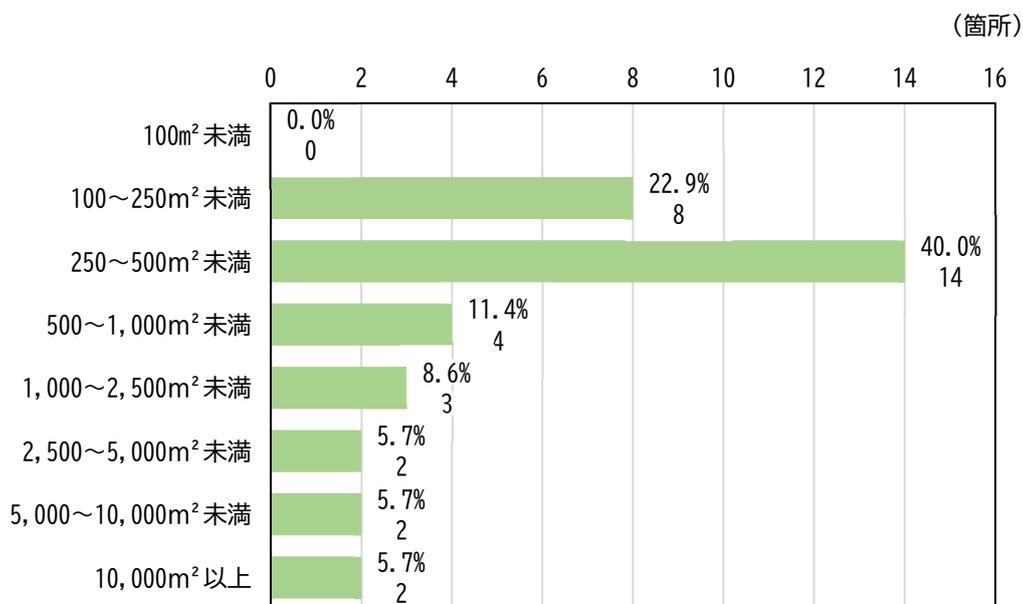
人口：11,453人（令和5年（2023年）12月現在）

公園等の住民一人当たりの敷地面積：9.4㎡（地域ふれあい公園を含む）

種別	地区公園	近隣公園	街区公園	緑地	地域ふれあい公園	合計
箇所数	1	0	0	0	34	35
面積（㎡）	60,000	0	0	0	47,488	107,488

◆ 菩提寺地域の公園等の面積規模

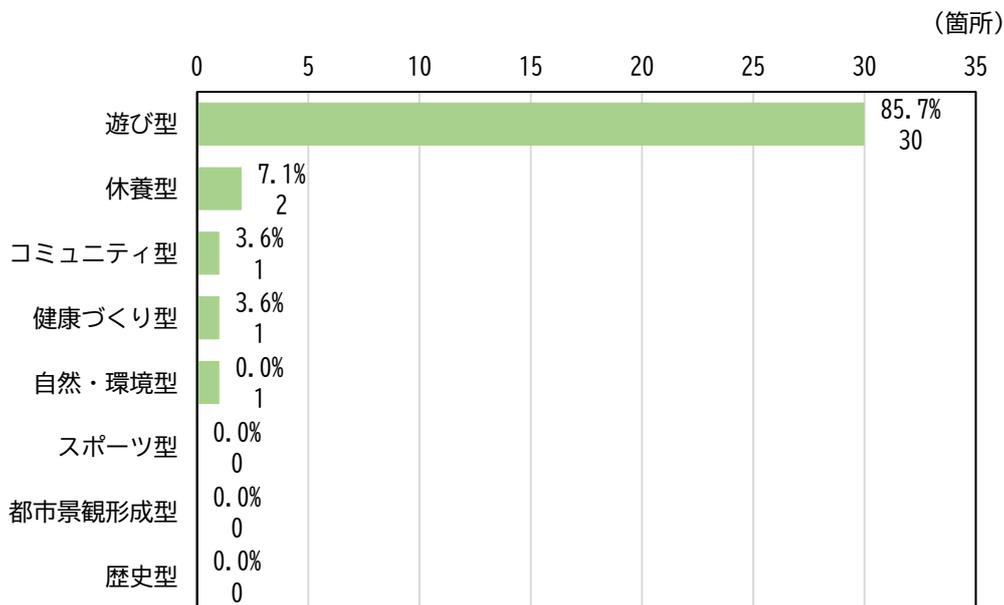
公園等の整備面積は、250～500㎡未満の公園等が最も多く、14箇所（40.0%）となっています。



図：面積規模別の公園等箇所数

◆ 菩提寺地域の公園等の整備形態

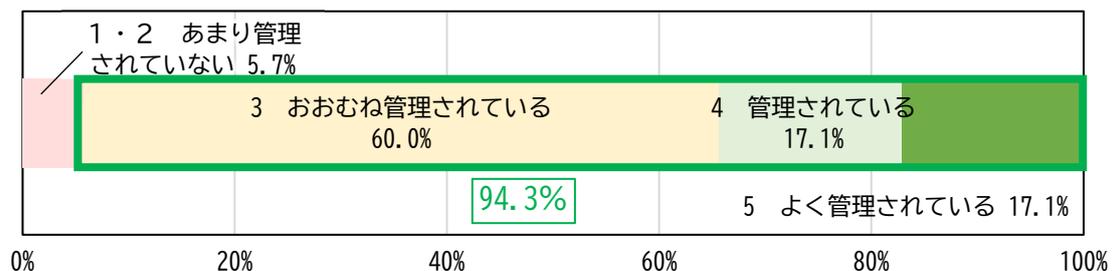
令和5年（2023年）に実施した実態調査の結果から、公園等の整備形態を特徴に応じて整理すると、遊び型の公園等が30箇所（85.7%）で最も多く、次いで休養型の公園等が2箇所（7.1%）となっています。



図：公園等の整備形態

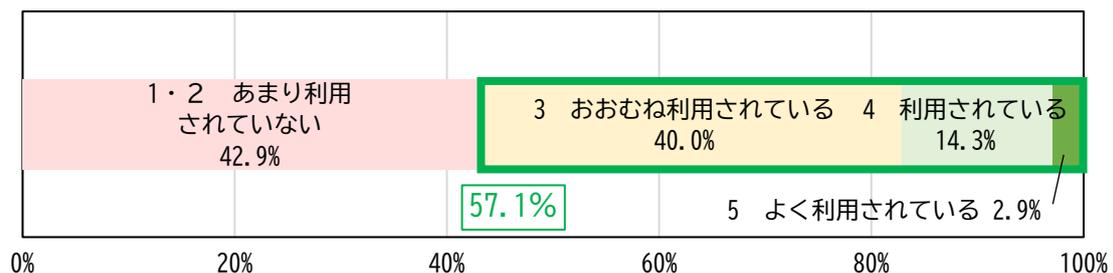
◆ 菩提寺地域の公園等の管理状況と利用状況

公園等の管理状況をみると、「管理されている」公園等は、94.3%で9割以上を占めています。



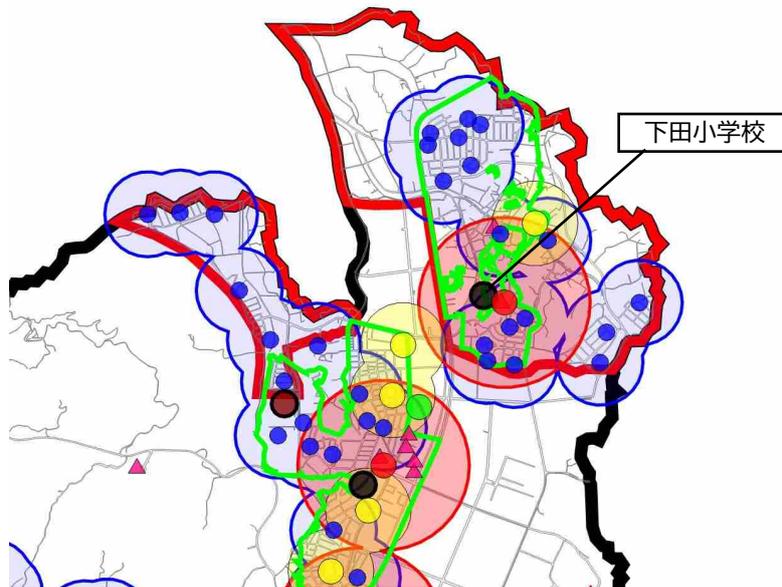
図：公園等の管理状況

公園等の利用状況をみると、「利用されている」公園等が57.1%と過半数を占めています。

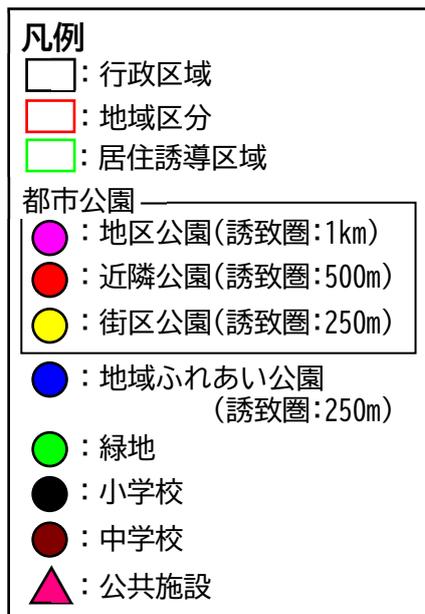


図：公園等の利用状況

(6) 下田地域



図：公園等の配置状況



◆ 下田地域の地域特性（湖南省都市計画マスタープランより）

- ・市域の北東に位置し、北側は竜王町、東側は甲賀市に隣接しています。
- ・北側には一団の農地が広がり、国道477号の東側には祖父川沿いに市街地や専用住宅地が形成されています。
- ・北西側には農地と一団の専用住宅地が形成され、野神川の東側に大谷観光ぶどう園があります。
- ・南側には湖南工業団地、行政界を超えた北東側にはダイハツ工業滋賀（竜王）工場が立地しており、多くの人が集まる環境を有しています。
- ・下田地域は9つの行政区で構成されており、歴史資源としては約600年の歴史を持つ日枝神社があり、5月には「お田植え踊り」が行われています。

◆ 下田地域の公園等の配置状況

下田地域には、27箇所の公園等があります。これらの誘致圏は、居住誘導区域をおおむね充足しています。

地域内の都市公園等の住民一人当たりの敷地面積は7.7㎡であり、都市公園の住民一人当たりの敷地面積の標準（10㎡）を下回っています。

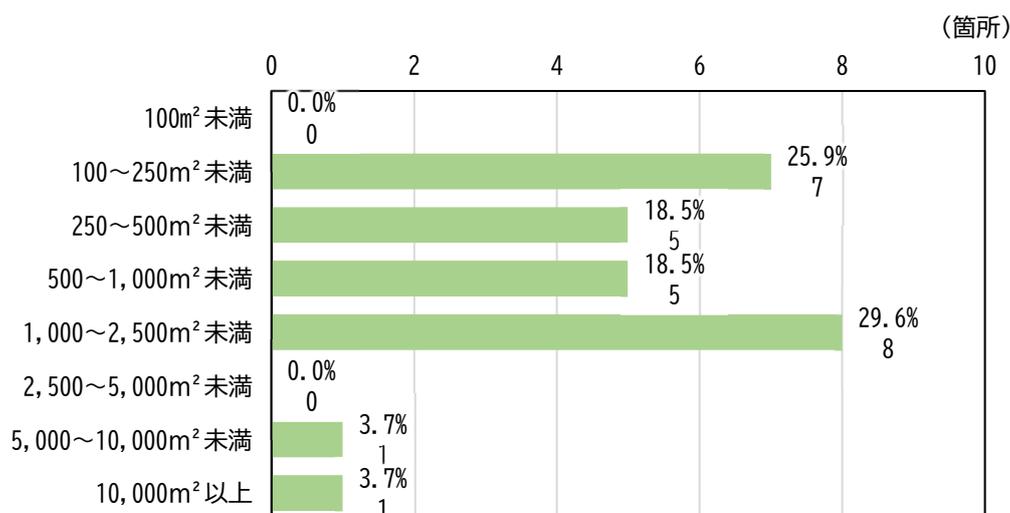
人口：6,187人（令和5年（2023年）12月現在）

公園等の住民一人当たりの敷地面積：7.7㎡（地域ふれあい公園を含む）

種別	地区公園	近隣公園	街区公園	緑地	地域ふれあい公園	合計
箇所数	0	1	1	0	25	27
面積（㎡）	0	25,000	6,900	0	15,723	47,623

◆ 下田地域の公園等の面積規模

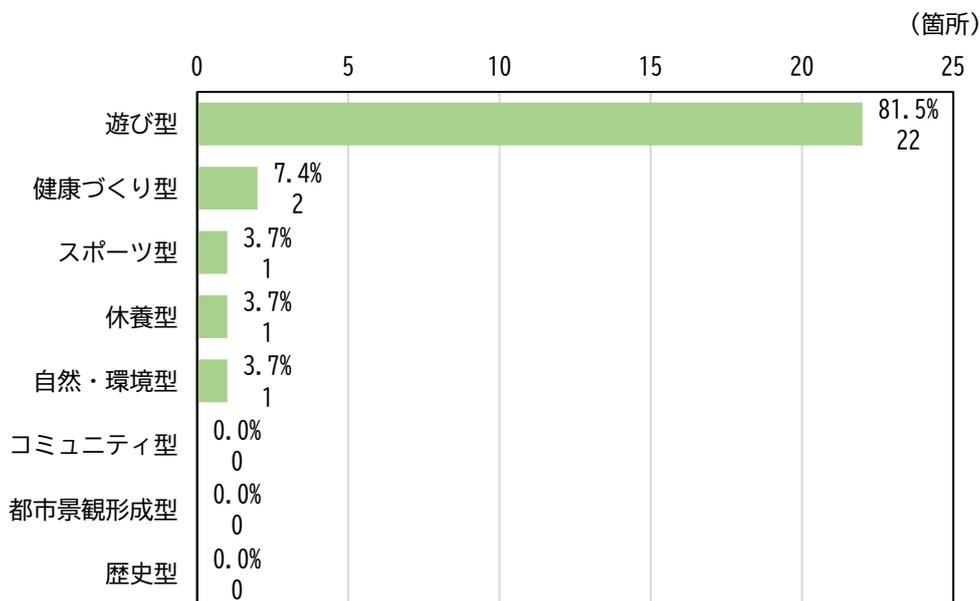
公園等の整備面積は、1,000～2,500㎡未満の公園等が最も多く、8箇所（29.6%）となっています。



図：面積規模別の公園等箇所数

◆ 下田地域の公園等の整備形態

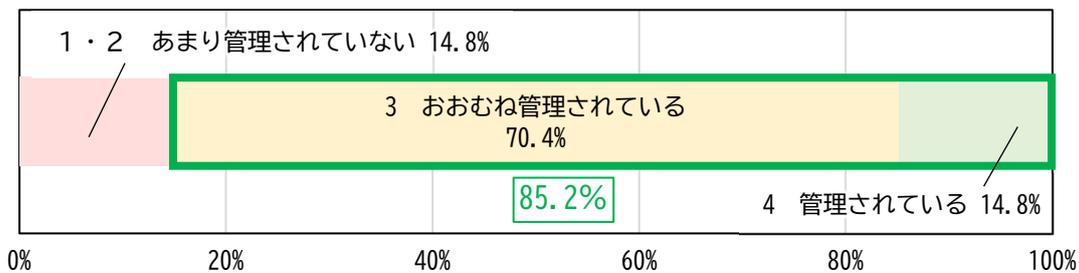
令和5年（2023年）に実施した実態調査の結果から、公園等の整備形態を特徴に応じて整理すると、遊び型の公園等が22箇所（81.5%）で最も多く、次いで健康づくり型の公園等が2箇所（7.4%）となっています。



図：公園等の整備形態

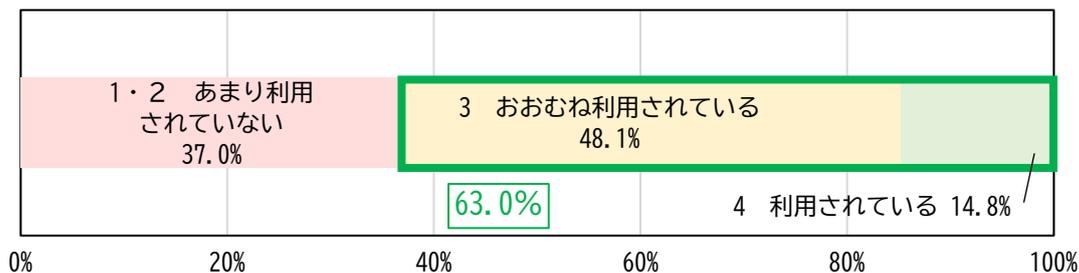
◆ 下田地域の公園等の管理状況と利用状況

公園等の管理状況を見ると、「管理されている」公園等は、85.2%と8割以上を占めています。



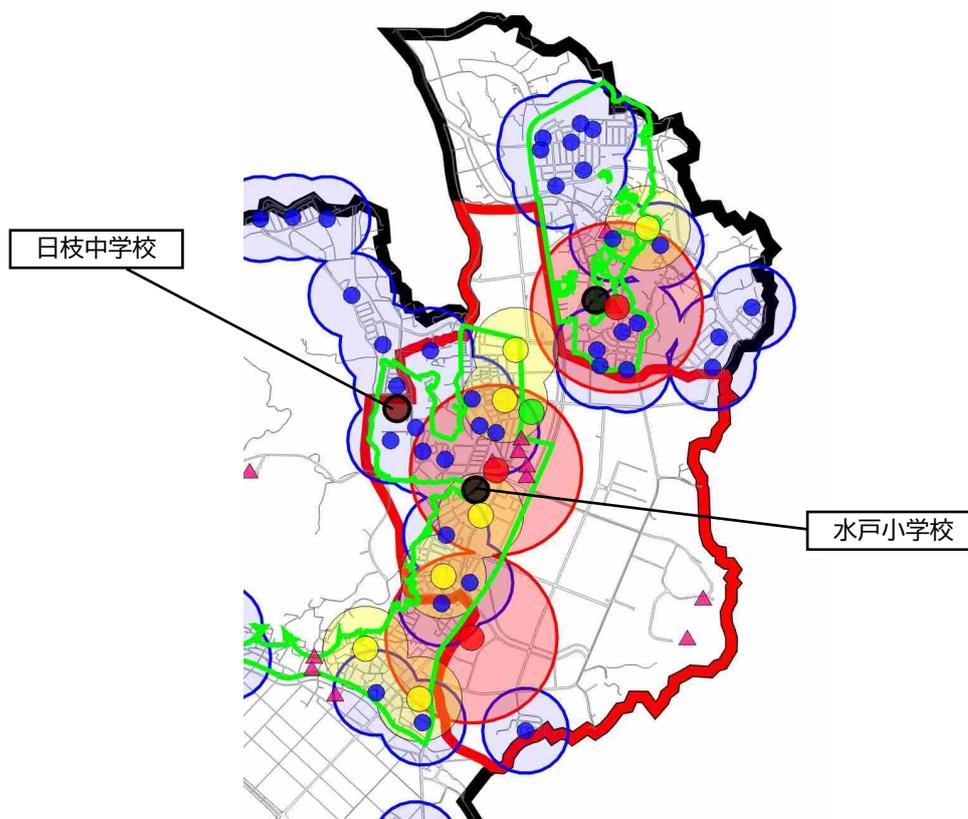
図：公園等の管理状況

公園等の利用状況を見ると、「利用されている」公園等が63.0%と6割以上を占めています。



図：公園等の利用状況

(7) 水戸地域



図：公園等の配置状況

凡例	
	行政区域
	地域区分
	居住誘導区域
都市公園	
	地区公園(誘致圏:1km)
	近隣公園(誘致圏:500m)
	街区公園(誘致圏:250m)
	地域ふれあい公園 (誘致圏:250m)
	緑地
	小学校
	中学校
	公共施設

◆ 水戸地域の地域特性（湖南市都市計画マスタープランより）

- ・市域東部に位置し、東側は甲賀市と接しています。
- ・地域の西側には住宅地、東部には工業団地が整備されています。
- ・地域の中央には水戸まちづくりセンター、水戸体育館、市民学習交流センター等の公共公益施設が集積しており、中心拠点としての役割を果たしています。
- ・地域の南部に位置するにぎり池公園は、古くからため池としての役割を果たしています。

◆ 水戸地域の公園等の配置状況

水戸地域には、16箇所の公園等があります。これらの誘致圏は、居住誘導区域をおおむね充足しています。

地域内の都市公園等の住民一人当たりの敷地面積は17.3㎡であり、都市公園の住民一人当たりの敷地面積の標準（10㎡）を超えています。

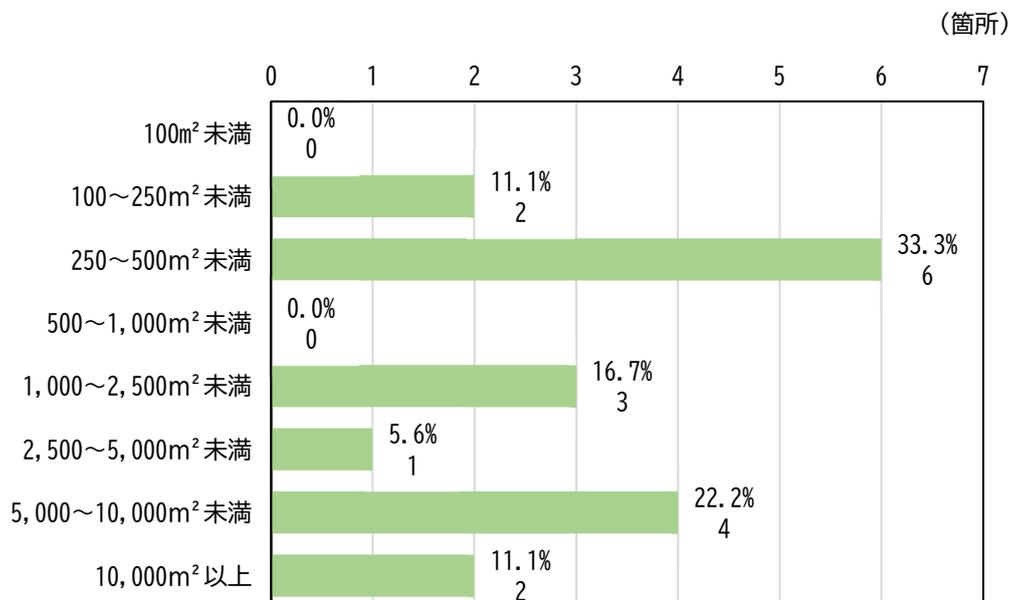
人口：5,801人（令和5年（2023年）12月現在）

公園等の住民一人当たりの敷地面積：17.3㎡（地域ふれあい公園を含む）

種別	地区公園	近隣公園	街区公園	緑地	地域ふれあい公園	合計
箇所数	0	2	4	1	9	16
面積（㎡）	0	70,000	21,000	5,300	4,069	100,369

◆ 水戸地域の公園等の面積規模

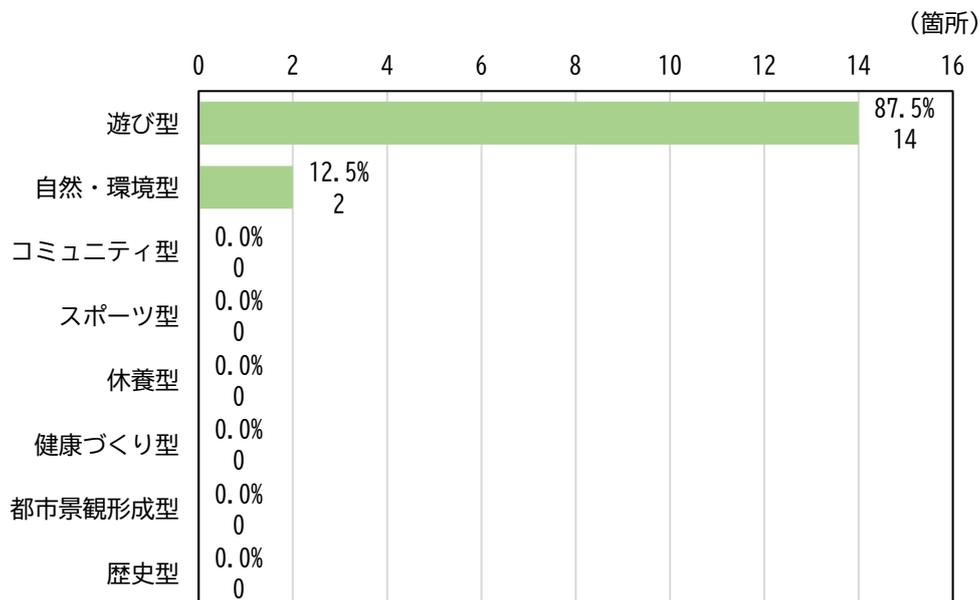
公園等の整備面積は、250～500㎡未満の公園等が最も多く、6箇所（33.3%）となっています。



図：面積規模別の公園等箇所数

◆ 水戸地域の公園等の整備形態

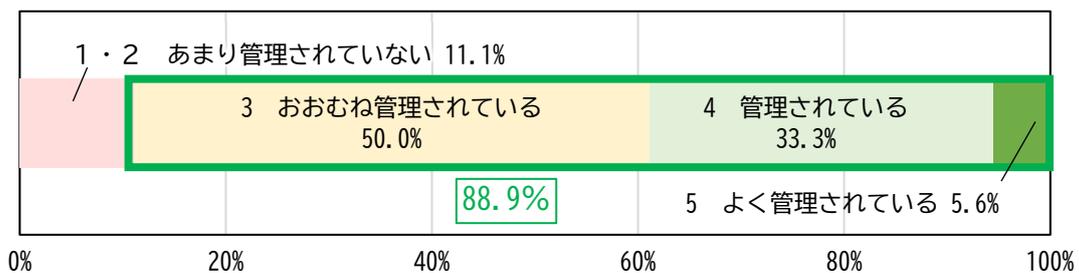
令和5年（2023年）に実施した実態調査の結果から、公園等の整備形態を特徴に応じて整理すると、遊び型の公園等が14箇所（87.5%）で最も多く、次いで自然・環境型の公園等が2箇所（12.5%）となっています。



図：公園等の整備形態

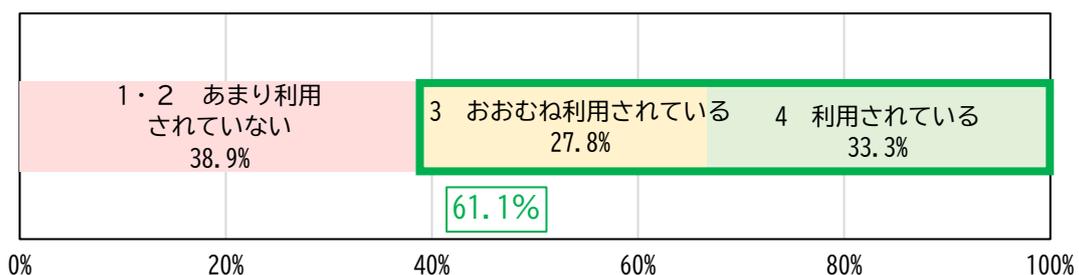
◆ 水戸地域の公園等の管理状況と利用状況

公園等の管理状況を見ると、「管理されている」公園等は、88.9%で9割近くを占めています。



図：公園等の管理状況

公園等の利用状況を見ると、「利用されている」公園等が61.1%と6割を超えています。



図：公園等の利用状況

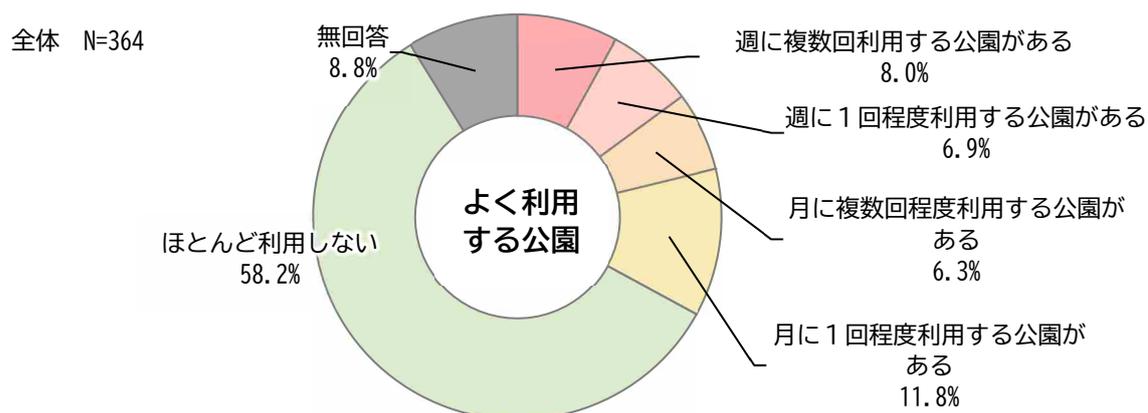
2-3 アンケート調査の結果

市内の公園等に対する市民や児童の意識やニーズに関するアンケート調査の結果は以下のとおりです。

(1) 市民アンケート（一般）

<公園の利用頻度>

・公園の利用頻度について、「ほとんど利用しない」と回答した人が58.2%と最も多い結果となりました。次いで、「月に1回」が11.8%となりました。

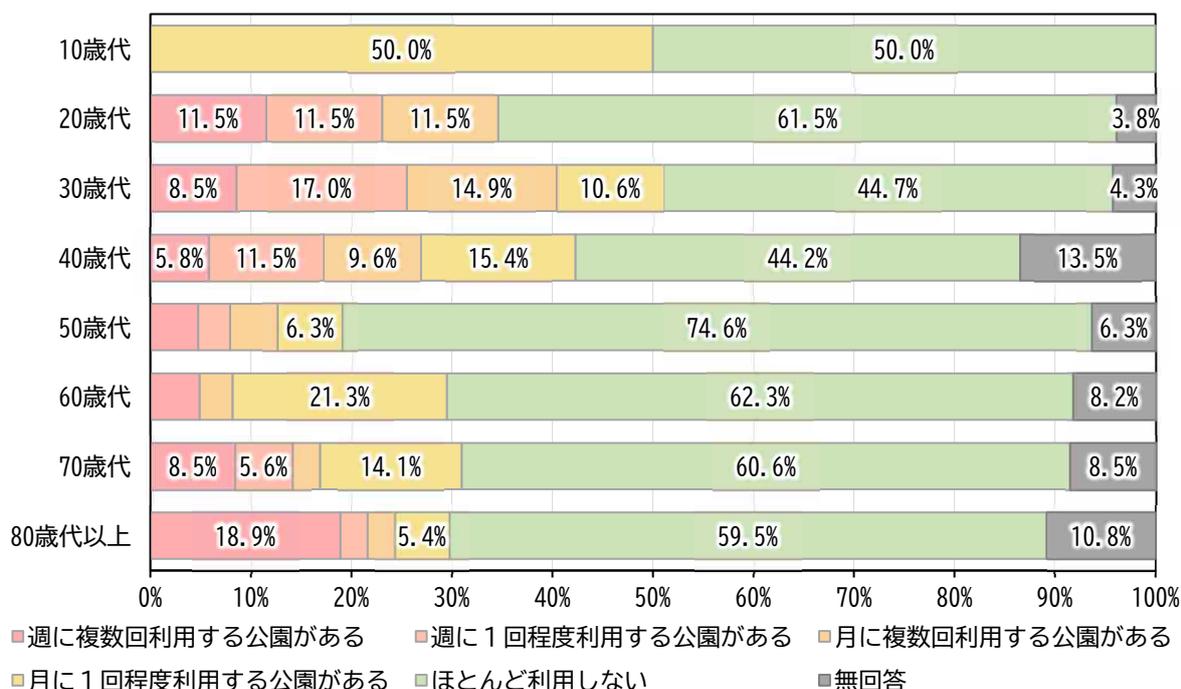


図：公園の利用頻度

【年齢別】

・年齢別にみると、公園等の利用頻度について、30歳代では半数が「月に1回以上利用」している結果となりました。80歳代以上では、「週に複数回利用する公園がある」回答が最も多く18.9%となりました。

※数値は5%以上を表示



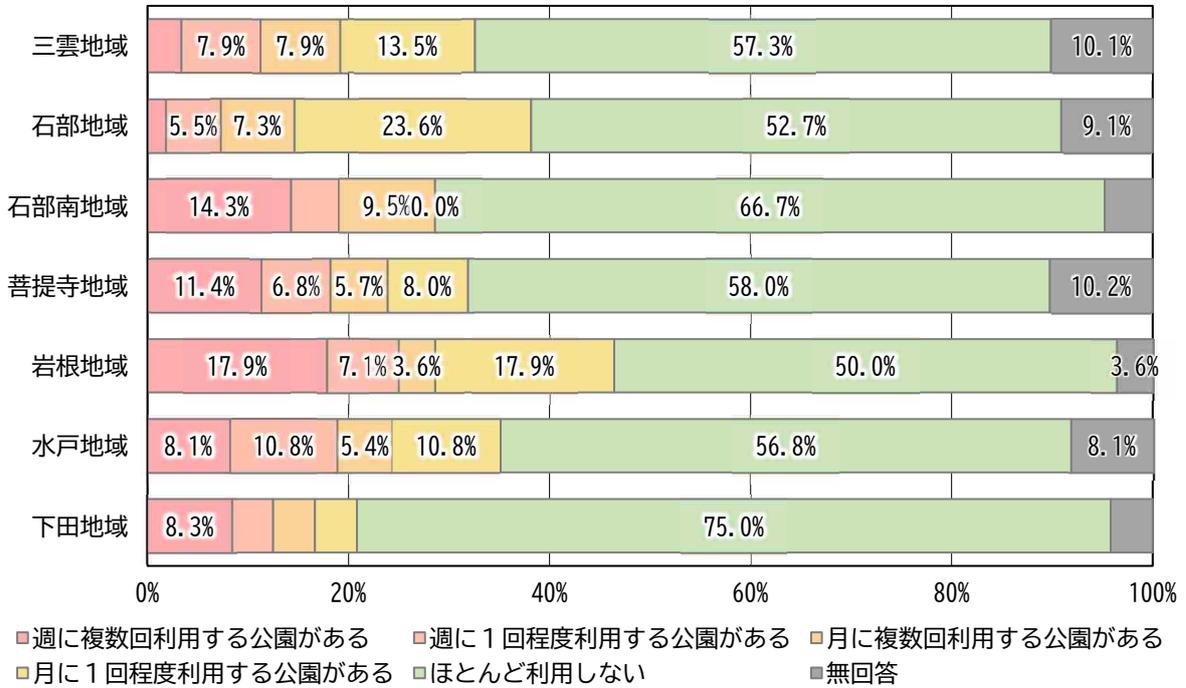
10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	無回答	合計
2	26	47	52	63	61	71	37	5	364

図：公園の利用頻度（年齢別）

【地域別】

・地域別にみると、公園等の利用頻度について、岩根地域では4割以上が「月に1回以上利用」している結果となりました。下田地域では「ほとんど利用しない」回答が最も多く、75.0%となりました。

※数値は5%以上を表示



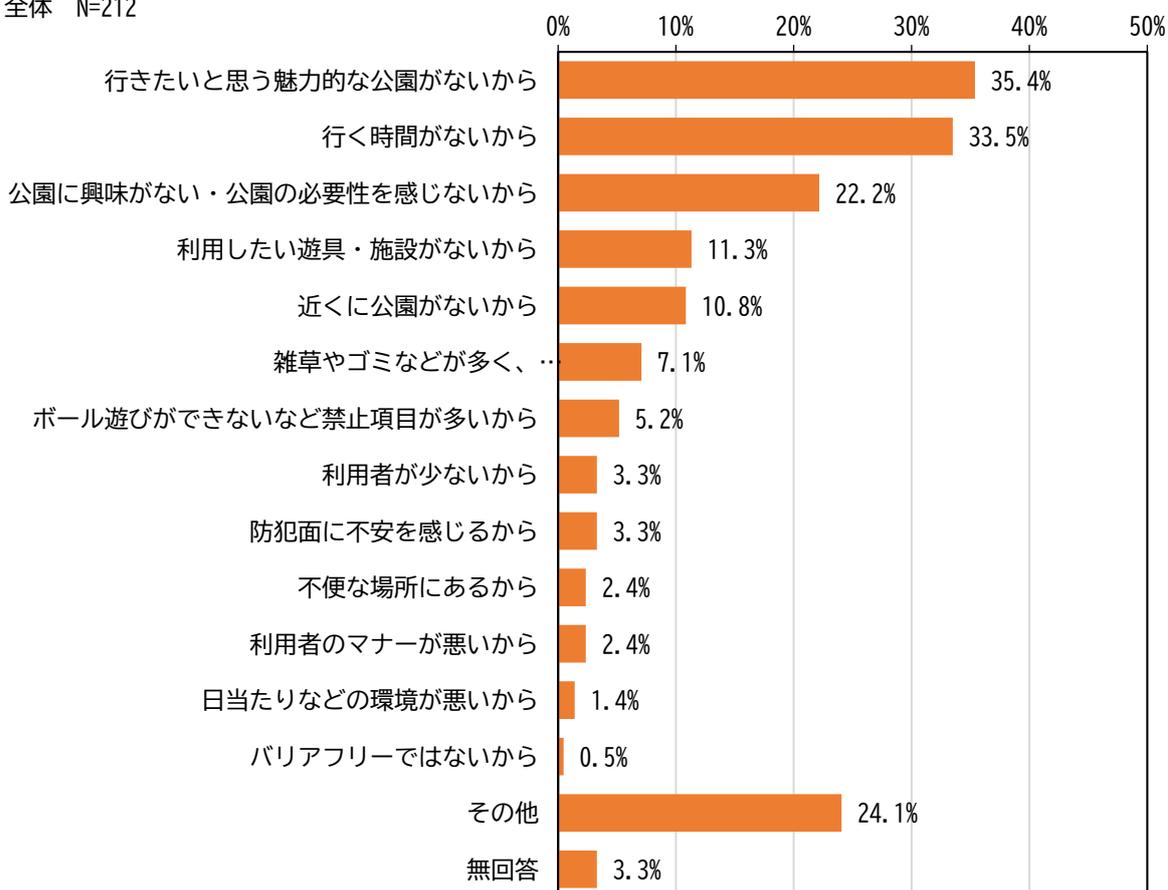
三雲地域	石部地域	石部南地域	菩提寺地域	岩根地域	水戸地域	下田地域	わからない	無回答	合計
89	55	21	88	28	37	24	18	4	364

図：公園の利用頻度（地域別）

<公園を利用しない理由>

- ・公園を利用しない理由について、「行きたいと思う魅力的な公園がないから」と回答した人が35.4%と最も多い結果となりました。次いで、「行く時間がないから」が33.5%となりました。

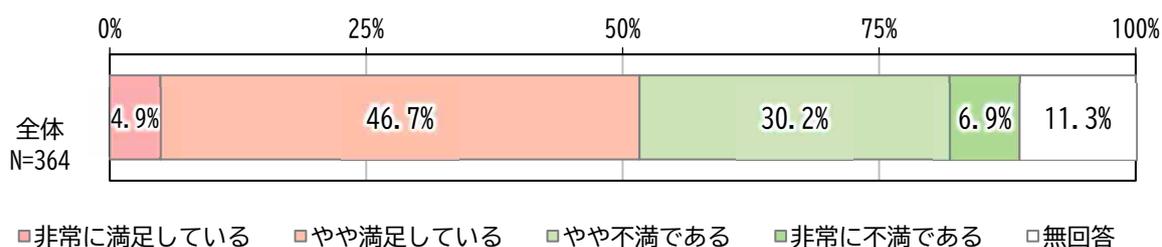
全体 N=212



図：公園を利用しない理由

<湖南省全体の公園の満足度>

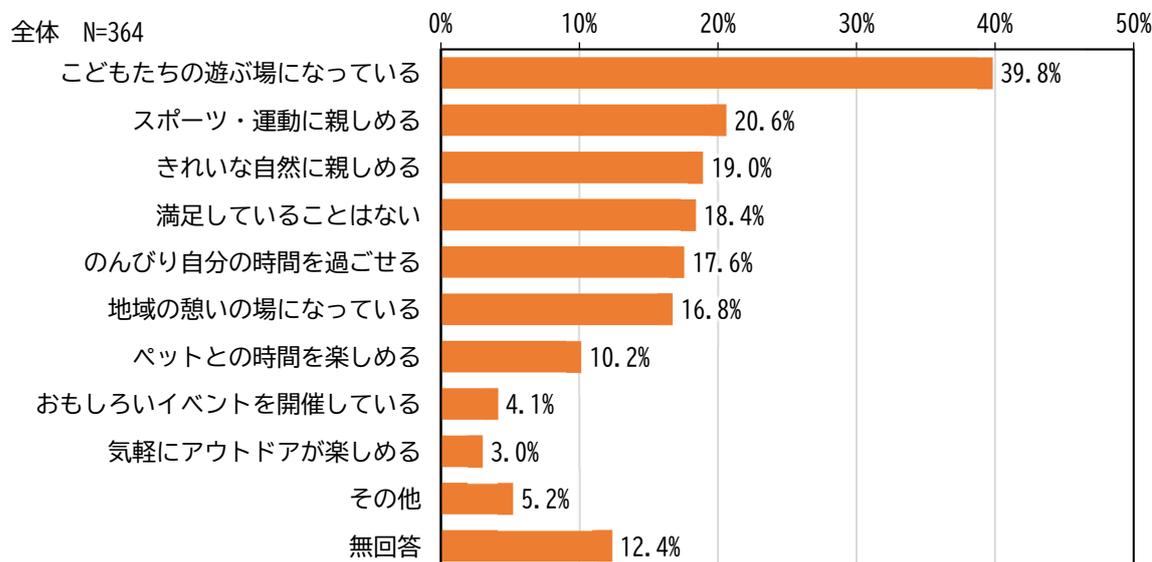
- ・湖南省全体の公園の満足度について、「やや満足している」と回答した人が46.7%と最も多い結果となりました。次いで、「やや不満である」が30.2%となりました。
- ・満足している人（「非常に満足している」と「やや満足している」の合計）は、半数以上となっています。



図：湖南省全体の公園の満足度

< 湖南省全体の公園で満足していること >

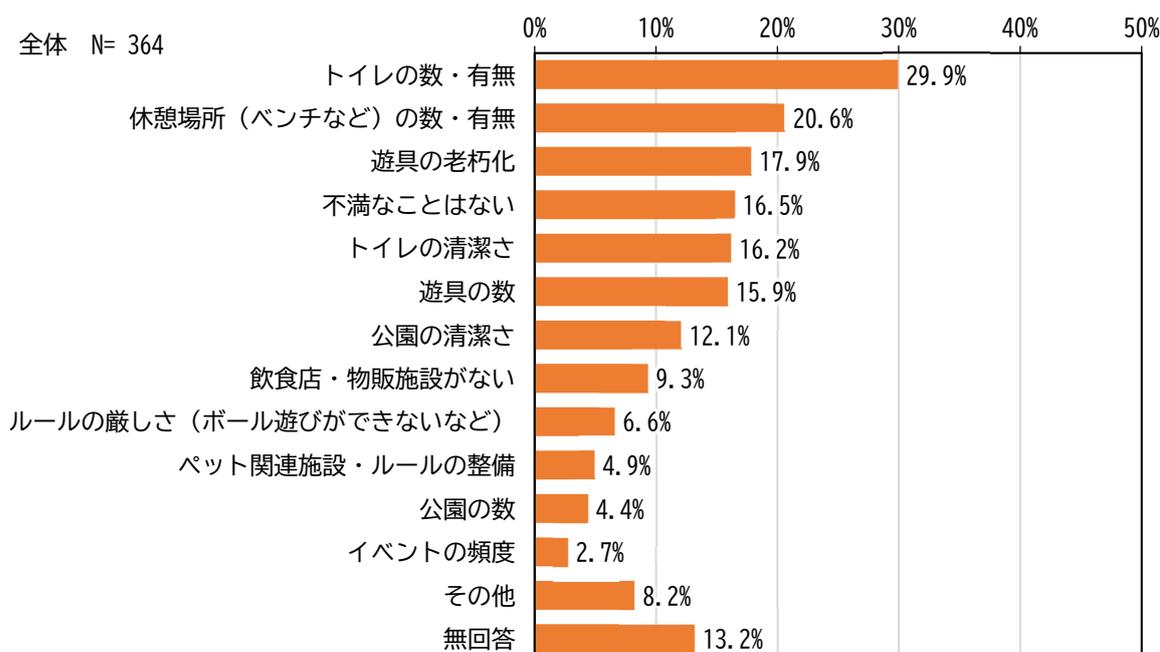
- ・ 湖南省全体の公園で満足していることについて、「子どもたちの遊ぶ場になっている」と回答した人が 39.8%と最も多い結果となりました。次いで、「スポーツ・運動に親しめる」が 20.6%となりました。



図：湖南省全体の公園で満足していること

< 湖南省全体の公園で不満なこと >

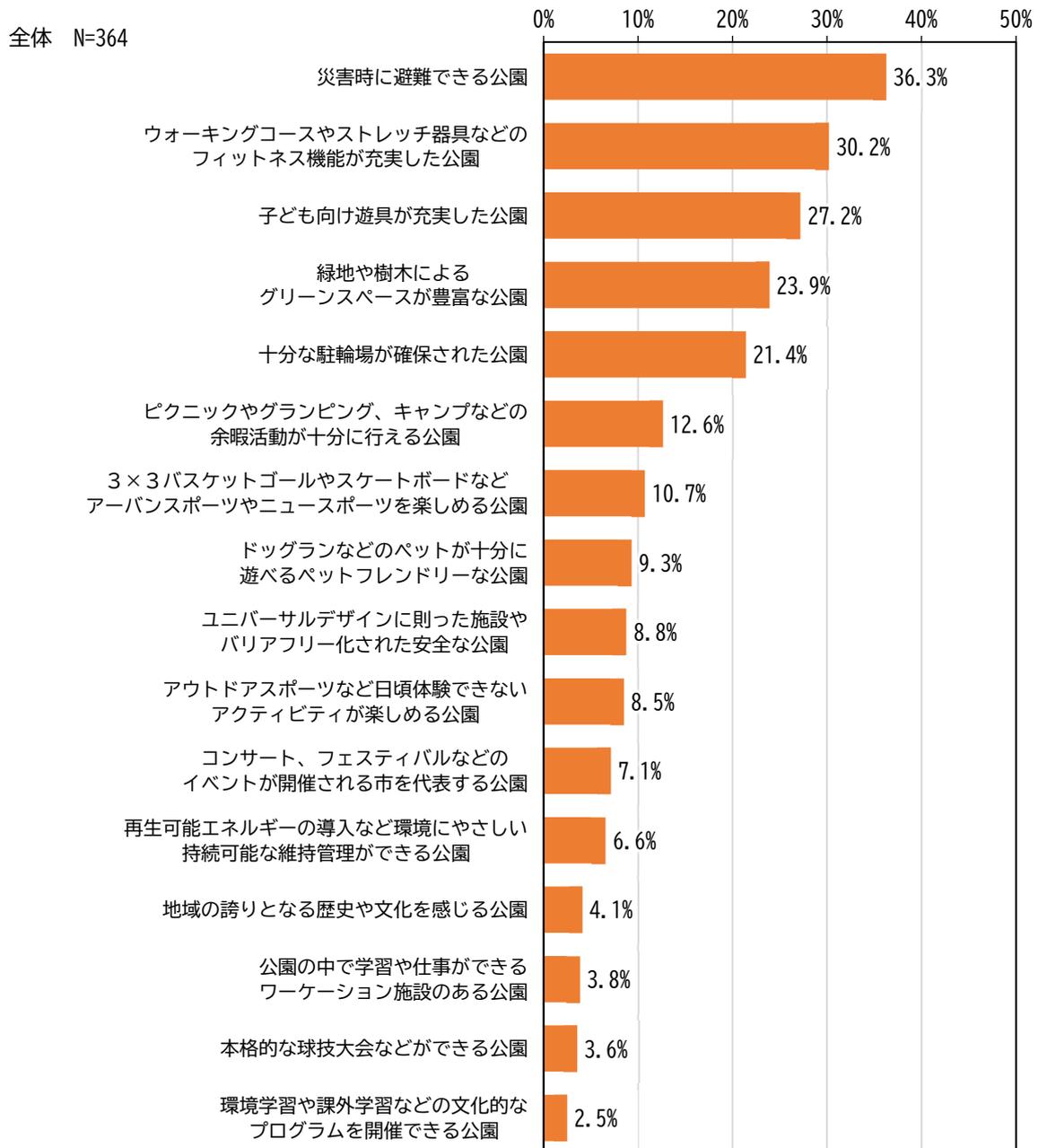
- ・ 湖南省全体の公園で不満なことについて、「トイレの数・有無」と回答した人が 29.9%と最も多い結果となりました。次いで、「休憩場所（ベンチなど）の数・有無」が 20.6%となりました。



図：湖南省全体の公園で不満なこと

< 湖南省にあるとよい公園 >

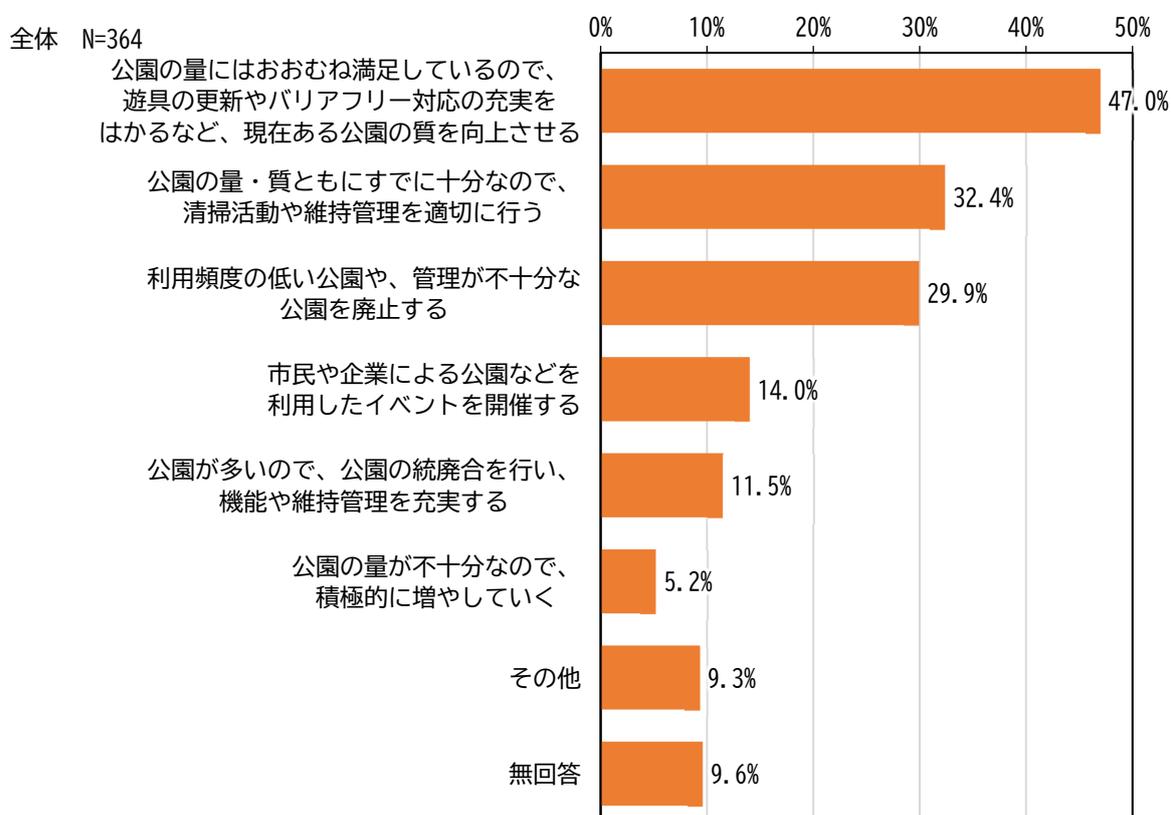
・「災害時に避難できる公園」と回答した人が 36.3%と最も多い結果となりました。次いで、「ウォーキングコースやストレッチ器具などのフィットネス機能が充実した公園」が 30.2%となりました。



図：湖南省にあるとよい公園

< 湖南市の公園をよくするために市に期待すること >

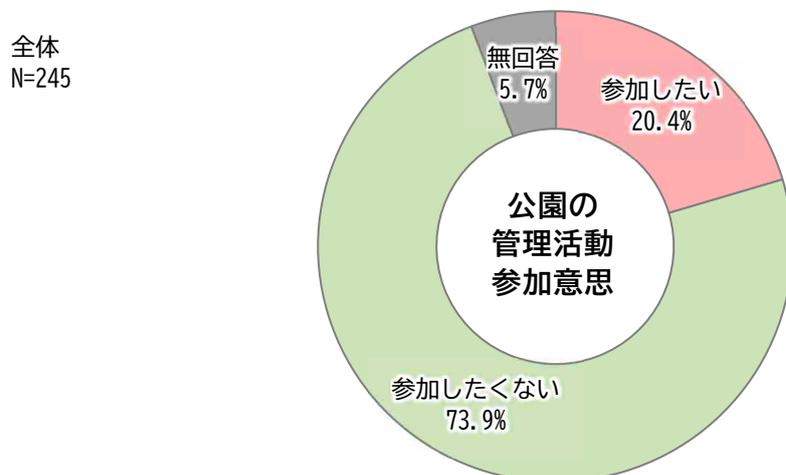
・「公園の量にはおおむね満足しているので、遊具の更新やバリアフリー対応の充実をはかるなど、現在ある公園の質を向上させる」と回答した人が 47.0%と最も多い結果となりました。次いで、「公園の量・質ともにすでに十分なので、清掃活動や維持管理を適切に行う」が 32.4%となりました。



図：湖南市の公園をよくするために市に期待すること

< 公園の管理活動の参加意思の有無 >

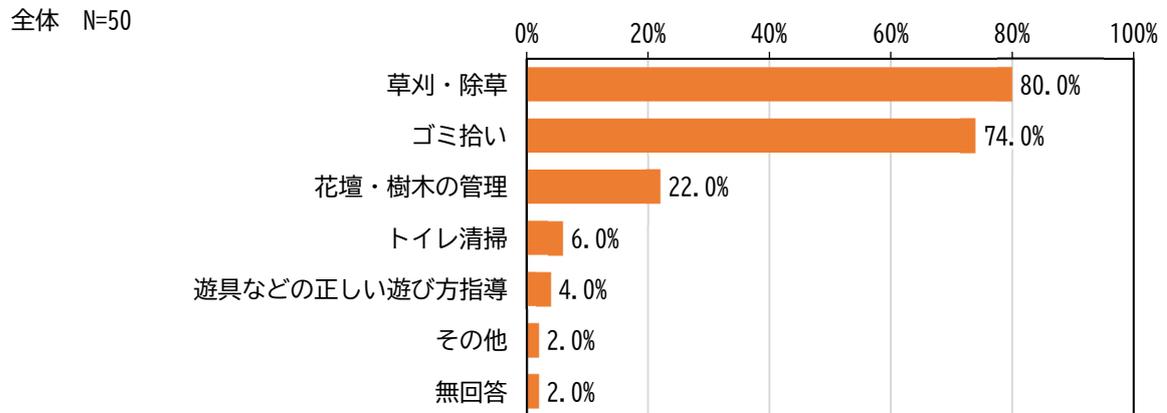
・公園の管理活動の参加意思について、「参加したくない」と回答した人が 73.9%と最も多い結果となりました。



図：公園の管理活動の参加意思の有無

<参加できる公園の管理活動の作業内容>

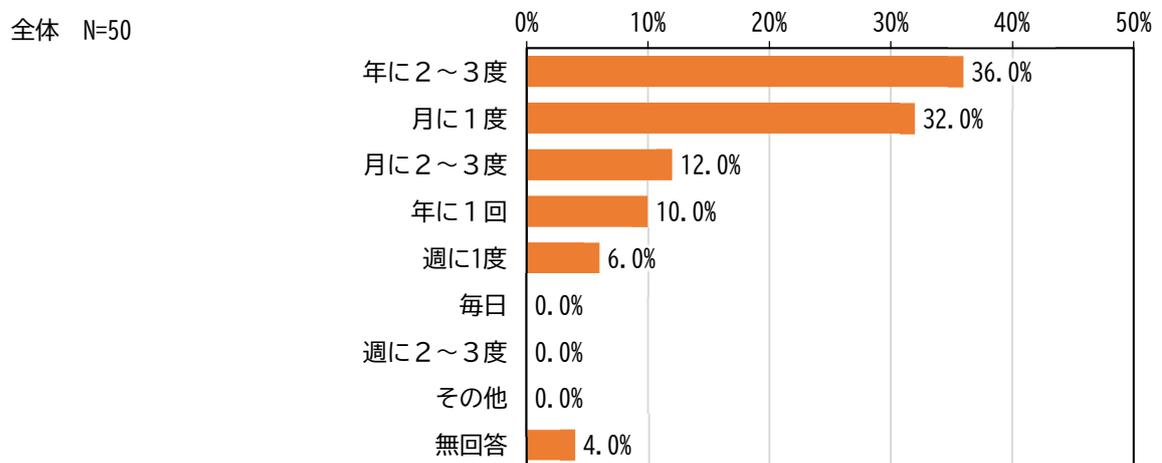
・参加できる公園の管理活動の作業内容について、「草刈・除草」と回答した人が80.0%と最も多い結果となりました。次いで、「ゴミ拾い」が74.0%となりました



図：参加できる公園の管理活動の作業内容

<参加できる公園の管理活動の参加頻度>

・参加できる公園の管理活動の参加頻度について、「年に2～3度」が36.0%と最も多い結果となりました。次いで、「月に1度」が32.0%となりました。



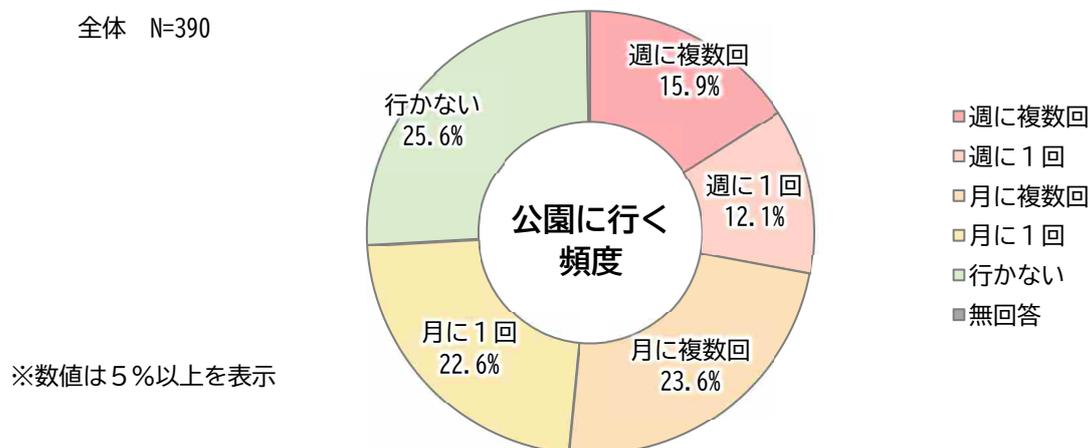
図：参加できる公園の管理活動の参加頻度

(2) 小学生アンケート

<公園の利用頻度>

・公園の利用頻度について、「行かない」と回答した人が25.6%と最も多い結果となりました。次いで、「月に複数回」と回答した人が23.6%、「月に1回」が22.6%となりました。

全体 N=390



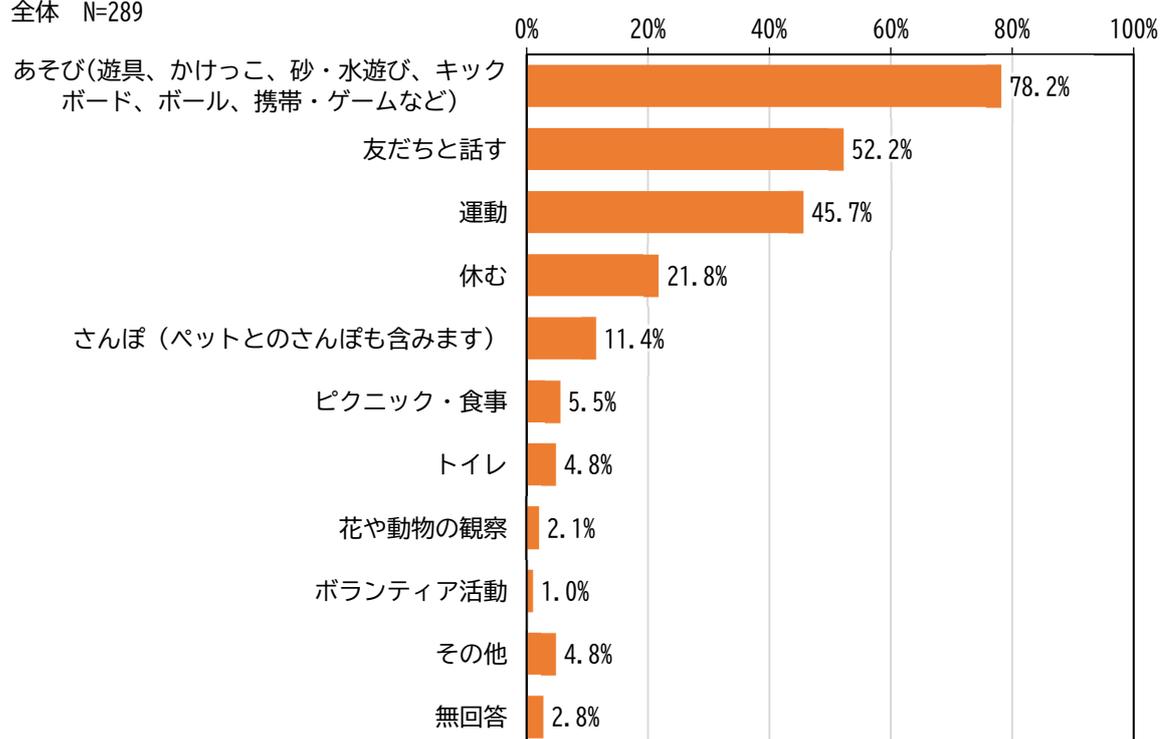
※数値は5%以上を表示

図：公園の利用頻度

<公園の利用目的>

・「あそび（遊具、かけっこ、砂・水遊び、キックボード、ボール、携帯・ゲームなど）」と回答した人が78.2%と最も多い結果となりました。次いで、「友だちと話す」が52.2%となりました。

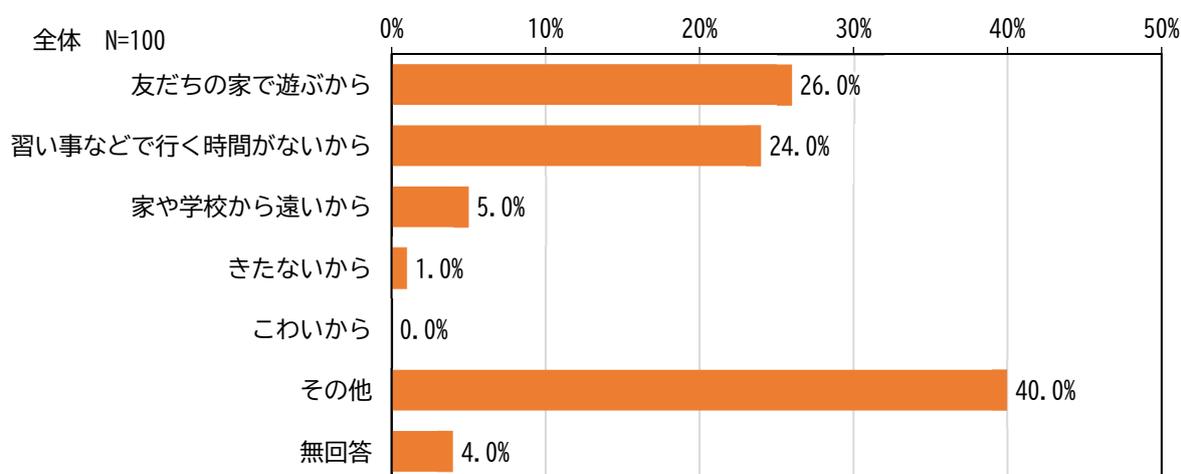
全体 N=289



図：公園の利用目的

<公園を利用しない理由>

・「友だちの家で遊ぶから」と回答した人が 26.0%と最も多い結果となりました。次いで、「習い事などで行く時間がないから」が 24.0%となりました。

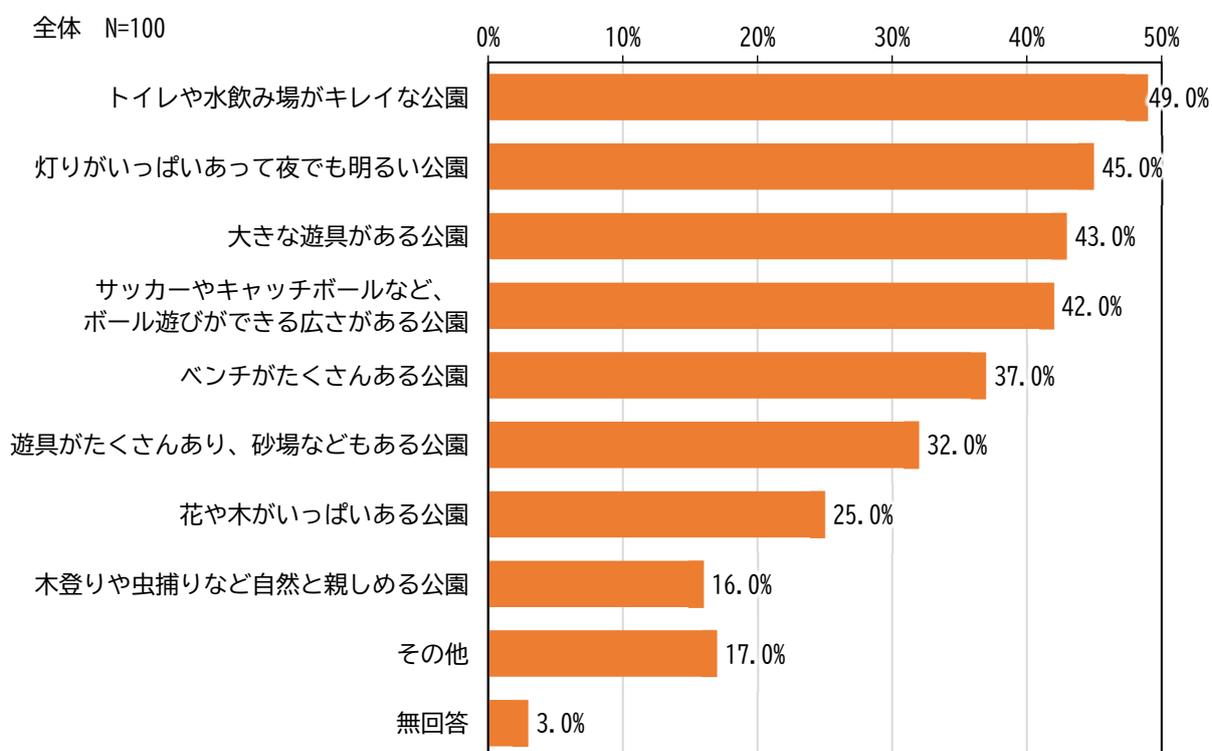


※「その他」の回答としては、「外で遊ばないから (5)」「ゲームをしたいから (5)」「禁止されているから (家以外での遊び・放課後の遊びなど 5)」「時間がないから (3)」といったご意見がみられました。

図：公園を利用しない理由

<行きたくなる公園>

・「トイレや水飲み場がキレイな公園」と回答した人が 49.0%と最も多い結果となりました。次いで、「灯りがいっぱいあって夜でも明るい公園」が 45.0%となりました。



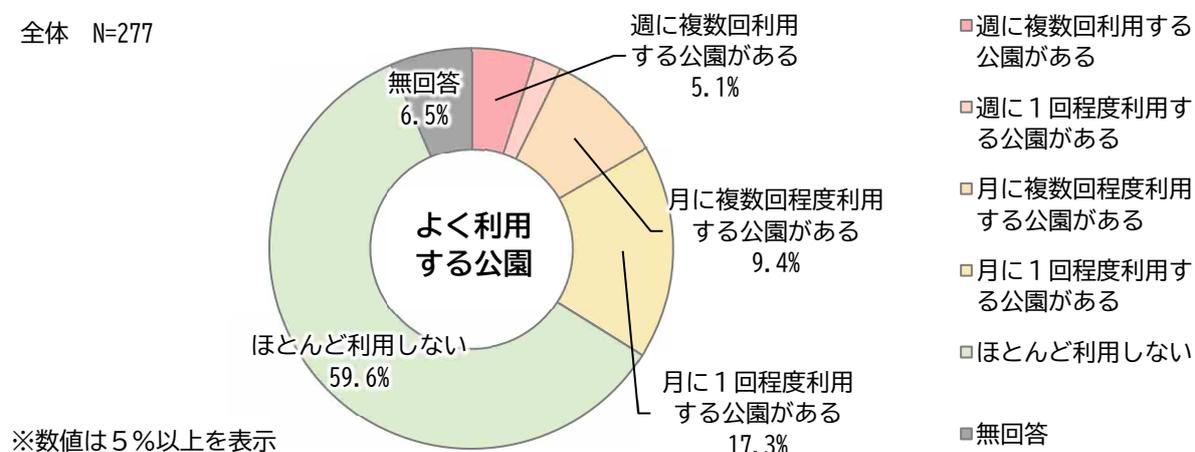
図：行きたくなる公園

(3) 学童保護者アンケート

<公園の利用頻度>

・「ほとんど利用しない」と回答した人が 59.6%と最も多い結果となりました。次いで、「月に1回」が 17.3%となりました。

全体 N=277

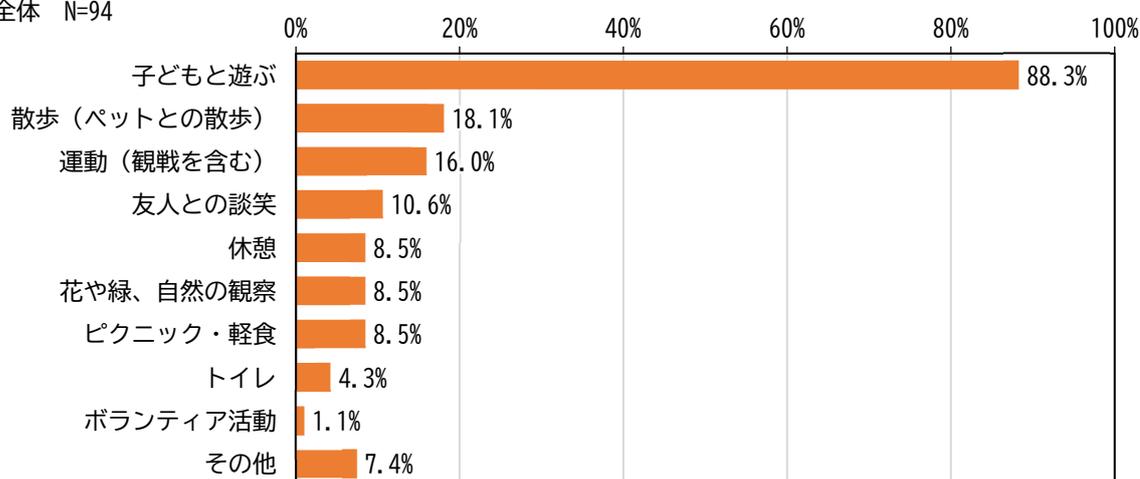


図：公園の利用頻度

<公園の利用目的>

・「子どもと遊ぶ」と回答した人が 88.3%と最も多い結果となりました。次いで、「散歩（ペットとの散歩）」が 18.1%となりました。

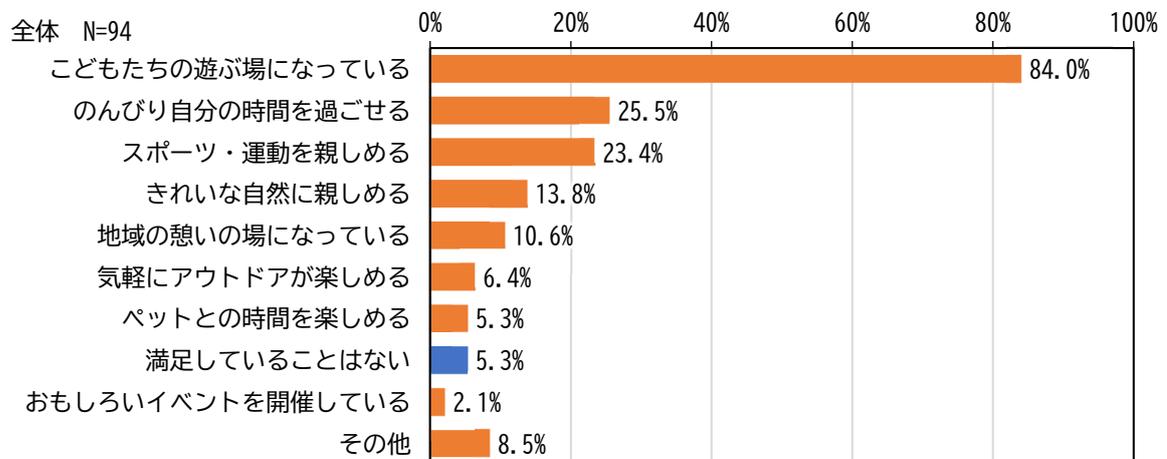
全体 N=94



図：公園の利用目的

<公園の良い部分>

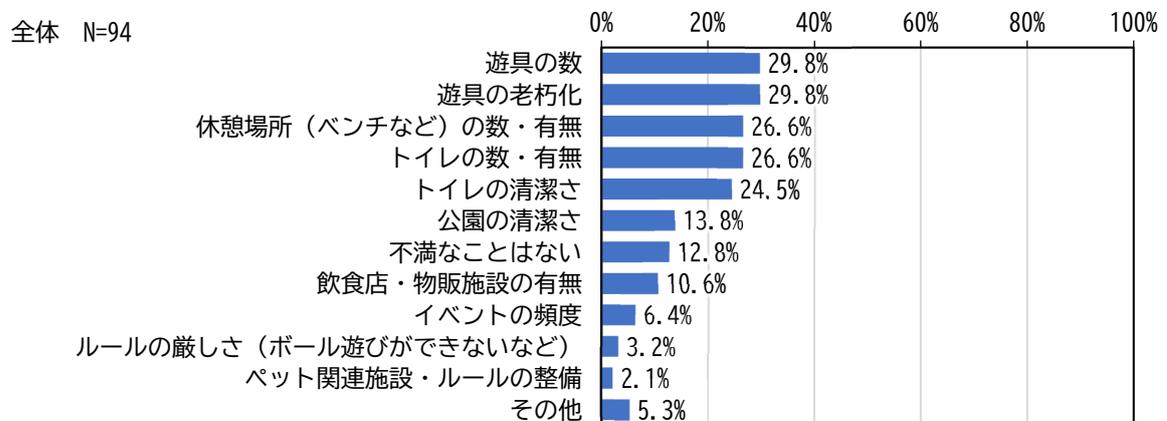
・「こどもたちの遊ぶ場になっている」が 84.0%と最も多い結果となりました。次いで、「のんびり自分の時間を過ごせる」が 25.5%となりました。



図：公園の良い部分

<公園の不満点>

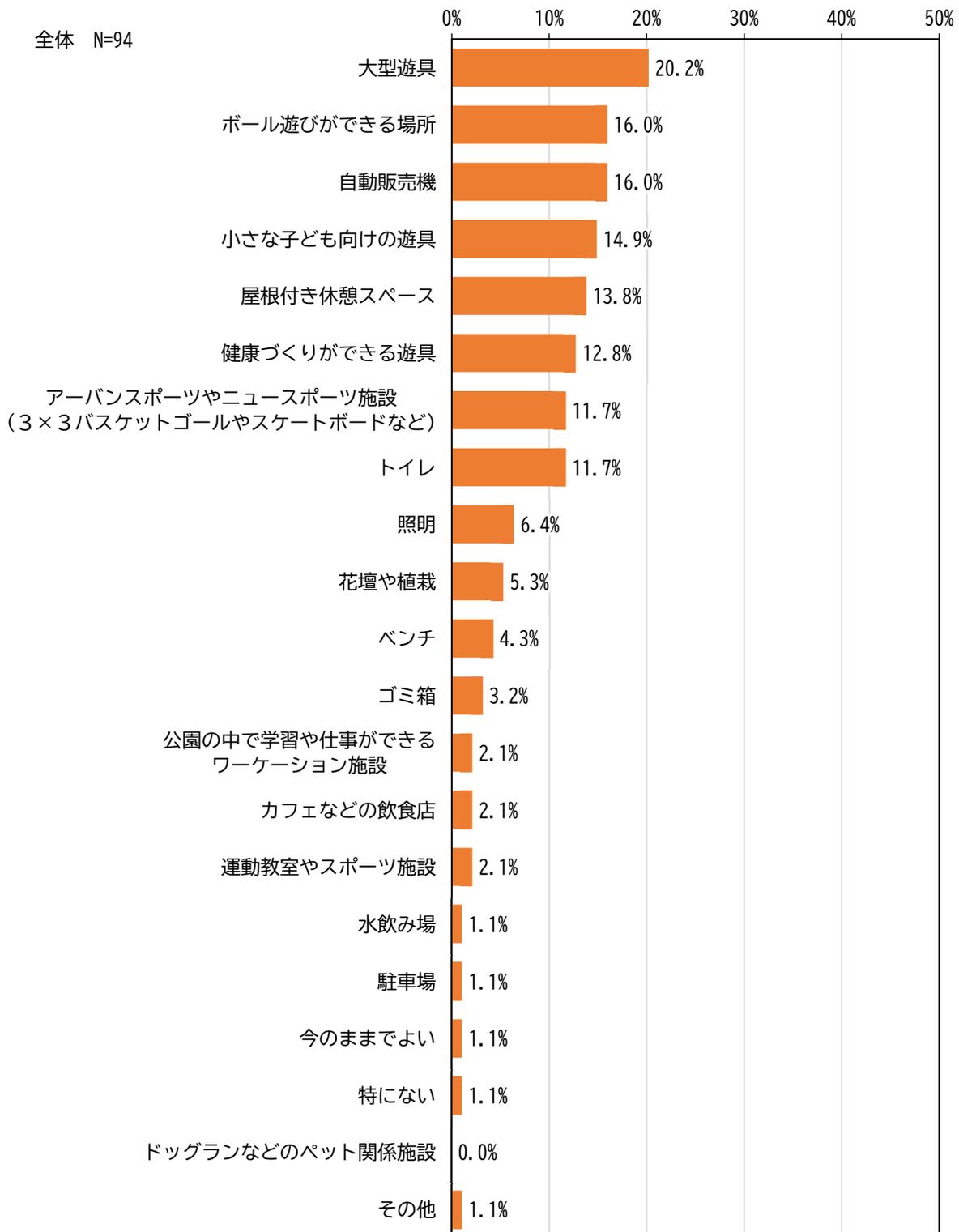
・「遊具の数」と「遊具の老朽化」と回答した人がともに 29.8%と最も多い結果となりました。次いで、「休憩場所（ベンチなど）の数・有無」と「トイレの数・有無」が 26.6%、「トイレの清潔さ」が 24.5%となりました。



図：公園の不満点

<公園にあればよいと思う施設や設備>

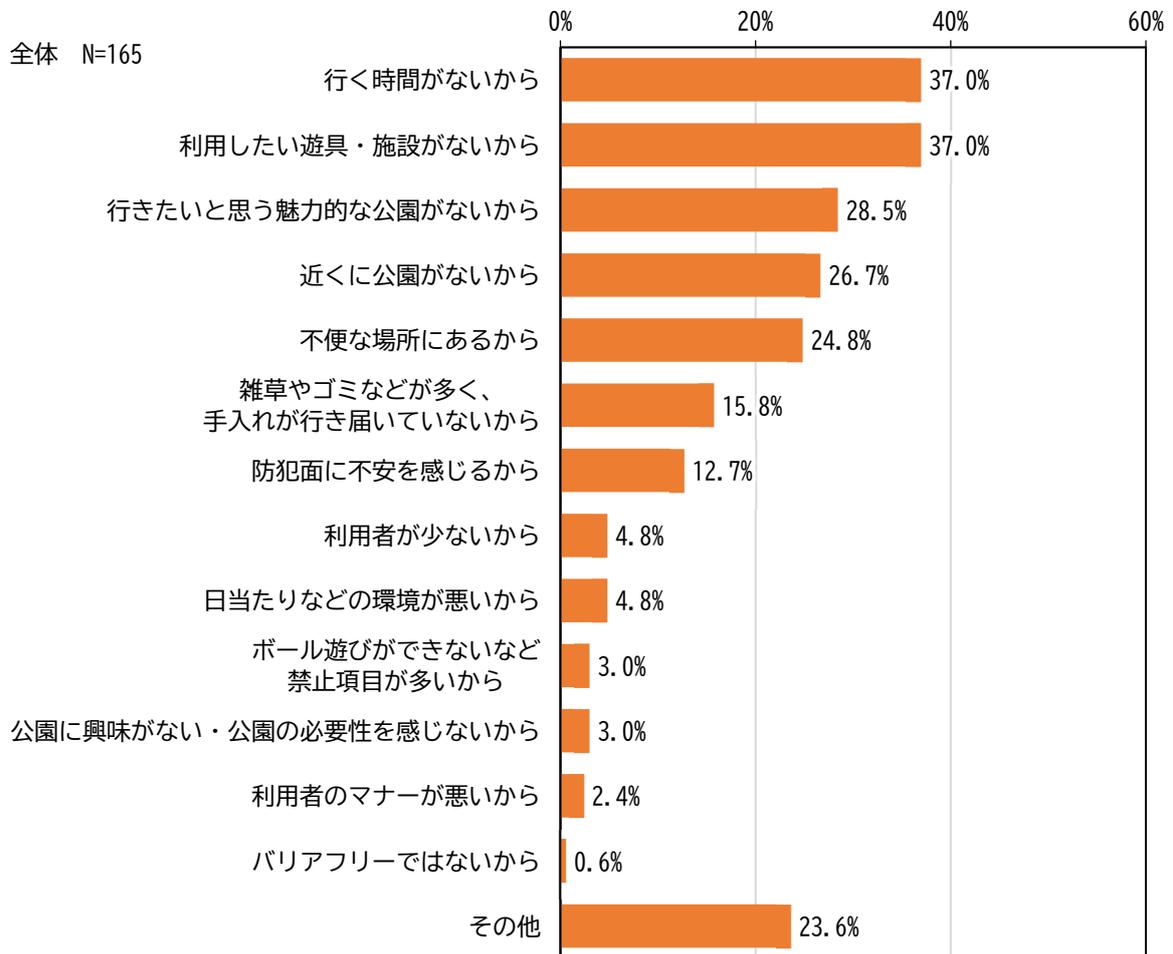
・「大型遊具」と回答した人が 20.2%と最も多い結果となりました。次いで、「ボール遊びができる場所」と「自動販売機」が 16.0%となりました。



図：公園にあればよいと思う施設や設備

<公園を利用しない理由>

・「行く時間がないから」と「利用したい遊具・施設がないから」と回答した人が37.0%と最も多い結果となりました。次いで、「行きたいと思う魅力的な公園がないから」が28.5%となりました。

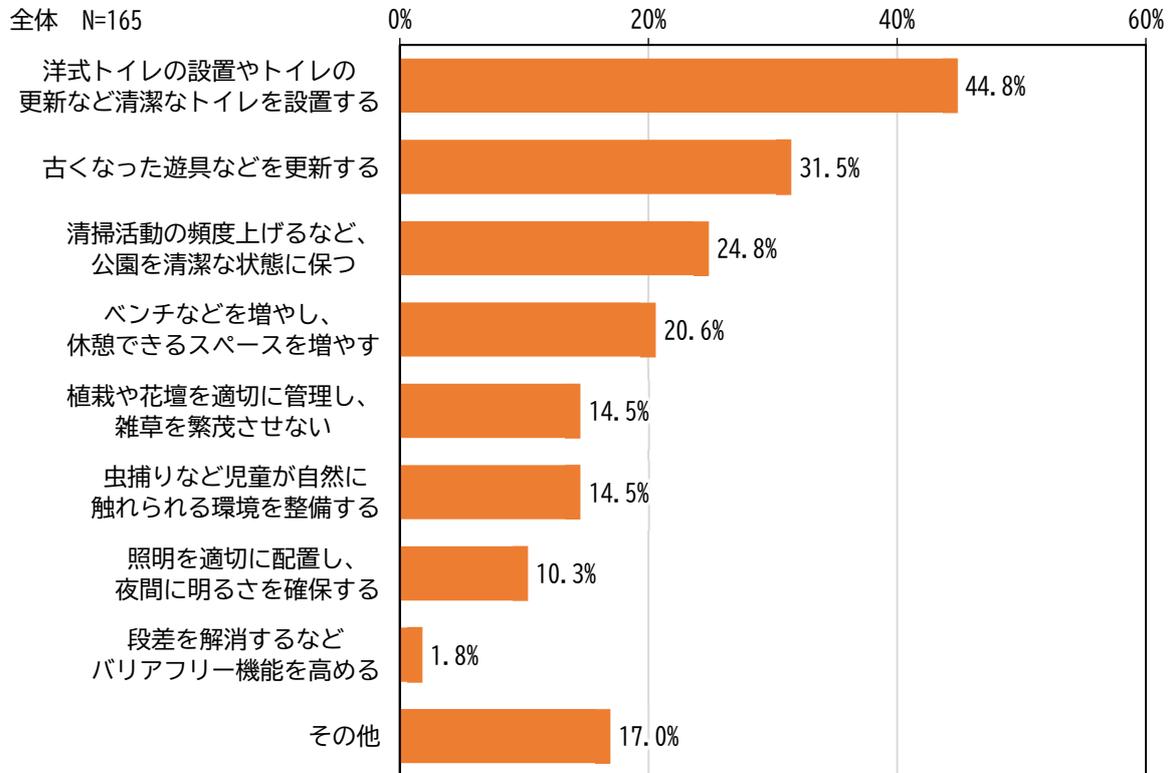


※「その他」の回答としては、対象となる公園を「知らないから (13)」、「近くの公園を利用するから (13)」といったご意見がみられました。

図：公園を利用しない理由

<公園を利用したくなる改善>

- ・「洋式トイレの設置やトイレの更新など清潔なトイレを設置する」と回答した人が44.8%と最も多い結果となりました。次いで、「古くなった遊具などを更新する」が31.5%となりました。

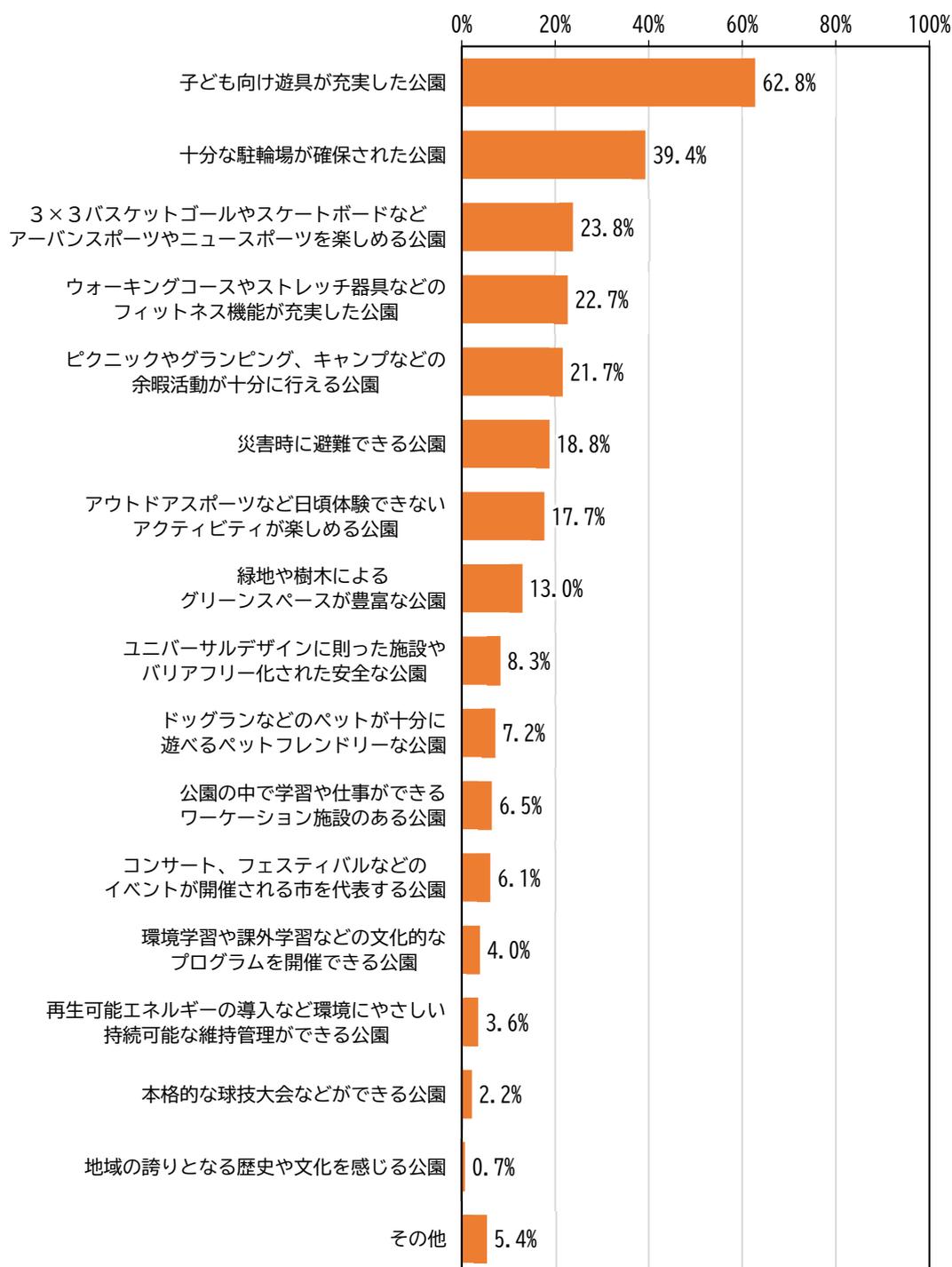


図：公園を利用したくなる改善

<湖南省にあるとよい公園>

・「子ども向け遊具が充実した公園」と回答した人が 62.8%と最も多い結果となりました。次いで、「十分な駐輪場が確保された公園」が 39.4%となりました。

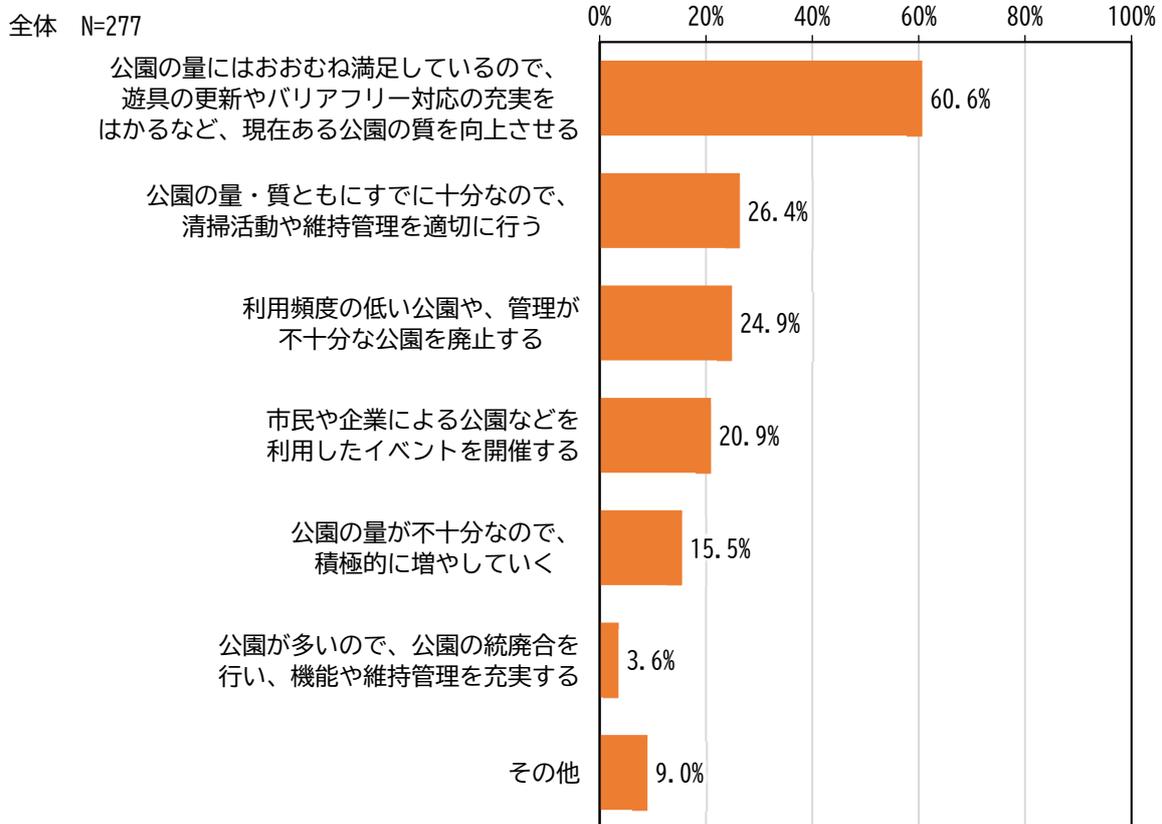
全体 N=277



図：湖南省にあるとよい公園

< 湖南省の公園をよくするために市に期待すること >

- ・「公園の量にはおおむね満足しているので、遊具の更新やバリアフリー対応の充実をはかるなど、現在ある公園の質を向上させる」と回答した人が 60.6%と最も多い結果となりました。次いで、「公園の量・質ともにすでに十分なので、清掃活動や維持管理を適切に行う」が 26.4%となりました。

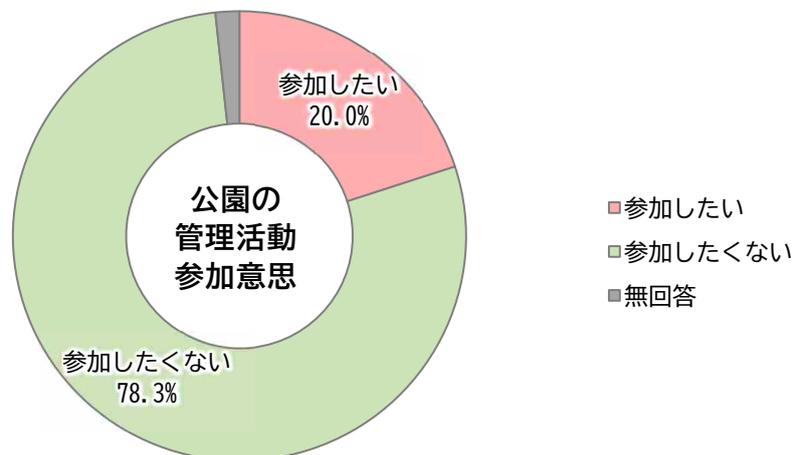


図：湖南省の公園をよくするために市に期待すること

< 公園の管理活動の参加意思の有無 >

- ・公園の管理活動の参加意思の有無について、「参加したくない」と回答した人が 78.3%と最も多い結果となりました。

全体 N=235



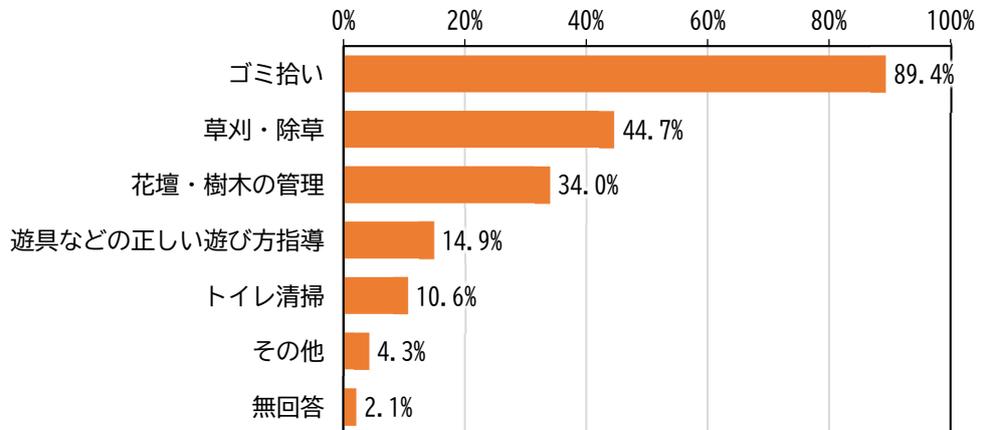
※数値は5%以上を表示

図：公園の管理活動の参加意思の有無

<参加できる公園の管理活動の作業内容>

・参加できる公園の管理活動の作業内容について、「ゴミ拾い」と回答した人が 89.4%と最も多い結果となりました。次いで、「草刈・除草」が 44.7%となりました。

全体 N=47

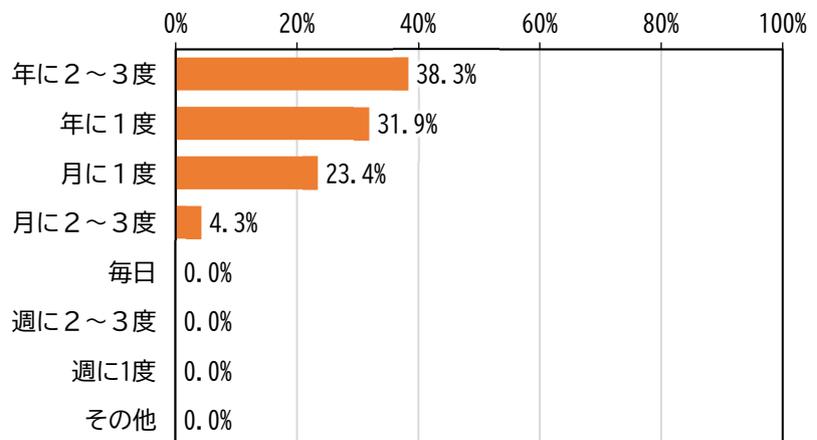


図：参加できる公園の管理活動の作業内容

<参加できる公園の管理活動の参加頻度>

・参加できる公園の管理活動の参加頻度について、「年に2～3度」が 38.3%と最も多い結果となりました。次いで、「年に1度」が 31.9%となりました。

全体 N=47



図：参加できる公園の管理活動の参加頻度

2-4 現状のまとめ

(1) 市内の公園等の現状

➡ 人口減少・少子高齢化が進展している

- ・本市の人口は、平成17年（2005年）をピークに減少、少子高齢化が進展しています。

➡ 公園等は充足状況にある

- ・市内には207箇所の公園等があり、これらの誘致圏は、居住誘導区域をおおむね充足しています。
- ・都市公園（地区公園・近隣公園・街区公園・緑地）の住民一人当たりの敷地面積は、8.47㎡、地域ふれあい公園を含めると11.07㎡で、都市公園の住民一人当たりの敷地面積の標準（10㎡）を超えています。
- ・石部南地域、岩根地域、菩提寺地域、下田地域では、都市公園の住民一人当たりの敷地面積の標準（10㎡）以下となっています。
- ・当計画の対象外ではありますが、計画されているものの未着手の公園等が4箇所あります（近隣公園2箇所・緑地2箇所）。

➡ 小規模な公園等が多い／9割が街区公園の敷地面積の標準以下

- ・公園等の整備面積は、100～250㎡未満の公園等が最も多く、67箇所（32.4%）となっています。
- ・街区公園の敷地面積の標準（2,500㎡）以下の公園等が、197箇所（86.5%）となっています。

➡ 8割以上が遊び型の公園等／公園等の機能の偏りがある

- ・公園等の整備形態を特徴に応じて整理すると、遊び型の公園等が162箇所（78.3%）で最も多く、次いで自然・環境型の公園等が11箇所（5.3%）となっています。

➡ 管理されている公園等が8割近いのに対し、利用されている公園等は6割弱／利用者のニーズとのミスマッチの可能性はある

- ・公園等の管理状況を見ると、「管理されている」公園等は、76.4%で8割近くとなっています。
- ・三雲地域では、「利用されている」公園等が5割以下となっています。

➡ 使用出来ない公園等や目的外利用されている公園等がある

- ・「管理されていない」公園等が2割を超えています。
- ・「あまり利用されていない」公園等が4割を超えています。

(2) アンケート調査

➡ 18歳以上の約6割が公園等をほとんど利用しない

- ・ <一般>「ほとんど利用しない」と回答した人が58.2%と最も多い結果となりました。次いで、「月に1回」が11.8%となりました。
- ・ <小学生>「行かない」と回答した人が25.6%と最も多い結果となりました。次いで、「月に複数回」と回答した人が23.6%、「月に1回」が22.6%となりました。
- ・ <学童保護者>「ほとんど利用しない」と回答した人が59.6%と最も多い結果となりました。次いで、「月に1回」が17.3%となりました。

➡ 行きたいと思う魅力的な公園等、利用したい遊具・施設がない

- ・ <一般>「行きたいと思う魅力的な公園がないから」と回答した人が35.4%と最も多い結果となりました。次いで、「行く時間がないから」が33.5%となりました。
- ・ <小学生>「友だちの家で遊ぶから」と回答した人が26.0%と最も多い結果となりました。次いで、「習い事などで行く時間がないから」が24.0%となりました。
- ・ <学童保護者>「行く時間がないから」と「利用したい遊具・施設がないから」と回答した人が37.0%と最も多い結果となりました。次いで、「行きたいと思う魅力的な公園がないから」が28.5%となりました。

➡ 約半数が市内の公園等に満足していると回答

- ・ <一般>「やや満足している」と回答した人が46.7%と最も多い結果となりました。次いで、「やや不満である」が30.2%となりました。
- ・ <一般>湖南省全体の公園で満足していることについて、「こどもたちの遊ぶ場になっている」と回答した人が39.8%と最も多い結果となりました。次いで、「スポーツ・運動に親しめる」が20.6%となりました。

➡ 公園等で不満なことは「トイレの数・有無」

- ・ <一般>湖南省全体の公園等で不満なことについて、「トイレの数・有無」と回答した人が29.9%と最も多い結果となりました。
- ・ <学童保護者>拠点となる公園等で不満なことについて、「遊具の数」と「遊具の老朽化」と回答した人がともに29.8%と最も多い結果となりました。次いで、「休憩場所（ベンチなど）の数・有無」と「トイレの数・有無」が26.6%、「トイレの清潔さ」が24.5%となりました。
- ・ <学童保護者>公園を利用したくなる改善策として、「洋式トイレの設置やトイレの更新など清潔なトイレを設置する」と回答した人が44.8%と最も多い結果となりました。次いで、「古くなった遊具などを更新する」が31.5%となりました。

➡ 欲しい公園等、行きたくなる公園等は、「災害時に避難できる公園」、「ウォーキングコースやストレッチ器具などのフィットネス機能が充実した公園」、「子ども向け遊具が充実した公園」（多様なニーズ）

- ・ <一般>「災害時に避難できる公園」と回答した人が36.3%と最も多い結果とな

りました。次いで、「ウォーキングコースやストレッチ器具などのフィットネス機能が充実した公園」が30.2%となりました。

- ・ <学童保護者> 湖南省にあるとよい公園として、「子ども向け遊具が充実した公園」と回答した人が62.8%と最も多い結果となりました。次いで、「十分な駐輪場が確保された公園」が39.4%となりました。
- ・ <小学生> 行きたくなる公園等として、「トイレや水飲み場がキレイな公園」と回答した人が49.0%と最も多い結果となりました。次いで、「灯りがいっぱいあって夜でも明るい公園」が45.0%となりました。

➡ 公園の量にはおおむね満足しており、現在ある公園の質の向上や、適切な維持管理が求められている

- ・ <一般> 市に期待することとして、「公園の量にはおおむね満足しているので、遊具の更新やバリアフリー対応の充実をはかるなど、現在ある公園の質を向上させる」と回答した人が47.0%と最も多い結果となりました。次いで、「公園の量・質ともにすでに十分なので、清掃活動や維持管理を適切に行う」が32.4%となりました。
- ・ <学童保護者> 市に期待することとして、「公園の量にはおおむね満足しているので、遊具の更新やバリアフリー対応の充実をはかるなど、現在ある公園の質を向上させる」と回答した人が60.6%と最も多い結果となりました。次いで、「公園の量・質ともにすでに十分なので、清掃活動や維持管理を適切に行う」が26.4%となりました。

➡ 公園等の管理活動には、8割近くが「参加したくない」

- ・ <一般> 公園等の管理活動の参加意思について、「参加したくない」と回答した人が73.9%と最も多い結果となりました。
- ・ <学童保護者> 公園等の管理活動の参加意思の有無について、「参加したくない」と回答した人が78.3%と最も多い結果となりました。

➡ 年に数回であれば、「草刈・除草」や、「ゴミ拾い」等の管理活動には参加できる可能性がある

- ・ <一般> 参加できる公園等の管理活動の参加頻度について、「年に2～3度」が36.0%と最も多い結果となりました。次いで、「月に1度」が32.0%となりました。
- ・ <学童保護者> 参加できる公園等の管理活動の参加頻度について、「年に2～3度」が38.3%と最も多い結果となりました。次いで、「年に1度」が31.9%となりました。
- ・ <一般> 参加できる公園等の管理活動の作業内容について、「草刈・除草」と回答した人が80.0%と最も多い結果となりました。次いで、「ゴミ拾い」が74.0%となりました。
- ・ <学童保護者> 参加できる公園等の管理活動の作業内容について、「ゴミ拾い」と回答した人が89.4%と最も多い結果となりました。次いで、「草刈・除草」が44.7%となりました。

2-5 公園等の再編に関する課題

市内の公園等の現状や、アンケート調査の結果を踏まえ、公園等の再編に向けた課題を、公園等の必要性、継続性および効率性の3つの視点から整理します。

※3つの視点は、公共施設等総合管理計画の視点を踏襲しています。

ア. 必要性の視点

少子高齢化による人口構成の変化、ライフスタイルの多様化等により、公園等の整備当時と比べ、公園等に対する市民のニーズが変化しています。また、ポストコロナの時代における人中心のまちづくりへの機運の高まりから、公園本来の役割、多機能性・多様な可能性の再認識が求められています。

地域の課題や特性に応じて公園等のポテンシャルを更に発揮できるよう、本当に必要な公園等のあり方を検討する必要があります。

市内の公園の量は充実していることを踏まえ、市民に必要とされる公園となるよう、利用されていない公園等については、近隣の公園等との統廃合を検討します。

- 社会の変化や地域のニーズに沿った、公園等の機能の再編
- 公園等の統廃合

イ. 継続性の視点

「公共施設等総合管理計画」の公共施設等のマネジメントに関する基本方針では、『基本的に新規施設を整備せずに、既存施設を活用して公共サービスの提供する』としています。

公園等の施設について、「公園施設長寿命化計画」による「予防保全型」の維持管理に取り組んでいることを踏まえ、公園等の計画的な保全、施設の長寿命化を図るとともに、多様化する利活用ニーズに応えられるよう、公園設備等の適切な更新について検討する必要があります。また、既存の公園を継続的に利用していただくため、新たな公園設備等の設置を検討することも考えられます。

アンケート調査では、トイレに対するご意見が多く寄せられました。公園のトイレは、来園者が公園を快適に利用するために必要な便益施設であり、災害発生時における「トイレ難民」への対応を担う施設でもあります。より利用しやすくなるよう、トイレの設置・再整備を検討します。

- 長寿命化計画による適切な維持管理や公園等の設備の更新
- トイレの設置・再整備の検討

ウ. 効率性の視点

利用状況の悪い公園等やコストの効率が悪い公園等に対しては、利用状況の改善や管理運営の効率化を図る等、管理運営方法の見直しを行う必要があります。今後の厳しい財政状況の中、公園等の長期的に安定した維持管理や公園等の機能を維持していくため、また、市民一人一人のニーズの多様化に対応するため、公園等は誰でも自由に使える空間という基本的な認識のもと、公園等の特性等に応じた利用ルールの弾力化や市民と行政のパートナーシップによるマネジメントの仕組みづくり等、公園等の利用・維持管理の効率化に向けた取組を検討する必要があります。

→市民と連携した公園等の利用促進

→パートナーシップによる効率的な維持管理の推進